

こ 第07086号

佐古保育所調理室空調改修2期工事

図 面 リ ス ト								
建 築 図			電 気 設 備 図			機 械 設 備 図		
図 面 番 号	図 面 名 称	縮 尺	図 面 番 号	図 面 名 称	縮 尺	図 面 番 号	図 面 名 称	縮 尺
A－0 1	特記仕様書(建築改修工事編) (1)		E－0 1	特記仕様書		M－0 1	特記仕様書(1)	
A－0 2	特記仕様書(建築改修工事編) (2)		E－0 2	電気設備機材指定表		M－0 2	特記仕様書(2)	
A－0 3	特記仕様書(建築改修工事編) (3)		E－0 3	分電盤結線図		M－0 3	既存・改修 空調機器表	
A－0 4	特記仕様書(建築改修工事編) (4)		E－0 4	改修前 動力設備 平面図	1：60	M－0 4	既存 空調設備 平面図	1：50
A－0 5	特記仕様書(建築改修工事編) (5)		E－0 5	改修後 動力設備 平面図	1：60	M－0 5	改修 空調設備 平面図	1：50
A－0 6	特記仕様書(建築改修工事編) (6)		E－0 6	改修前 電灯設備 平面図	1：60			
A－0 7	特記仕様書(建築改修工事編) (7)		E－0 7	改修後 動力設備 平面図	1：60			
A－0 8	附近見取り図・配置図	1：300						
A－0 9	平面図	1：60						
A－1 0	天井伏図	1：60						
A－1 1	参考既存図 仕上表							
A－1 2	参考既存図 立面図	1：100						
A－1 3	参考既存図 矩計図	1：30						
A－1 4	参考既存図 平面詳細図	1：50						
A－1 5	参考既存図 展開図1	1：50						
A－1 6	参考既存図 展開図2	1：50						
A－1 7	参考既存図 展開図3	1：50						
A－1 8	参考既存図 展開図4	1：50						
A－1 9	参考既存図 展開図5	1：50						

[illegible]

4	7	4	4
	5	4-1	4-2
4	7	4	4
5	8	4-1	4-2
6	9	4-1	4-2
7	10	4-1	4-2
8	11	4-1	4-2
9	12	4-1	4-2
10	13	4-1	4-2
11	14	4-1	4-2
12	15	4-1	4-2
13	16	4-1	4-2
14	17	4-1	4-2
15	18	4-1	4-2
16	19	4-1	4-2
17	20	4-1	4-2
18	21	4-1	4-2
19	22	4-1	4-2
20	23	4-1	4-2
21	24	4-1	4-2
22	25	4-1	4-2
23	26	4-1	4-2
24	27	4-1	4-2
25	28	4-1	4-2
26	29	4-1	4-2
27	30	4-1	4-2
28	31	4-1	4-2
29	32	4-1	4-2
30	33	4-1	4-2
31	34	4-1	4-2
32	35	4-1	4-2
33	36	4-1	4-2
34	37	4-1	4-2
35	38	4-1	4-2
36	39	4-1	4-2
37	40	4-1	4-2
38	41	4-1	4-2
39	42	4-1	4-2
40	43	4-1	4-2
41	44	4-1	4-2
42	45	4-1	4-2
43	46	4-1	4-2
44	47	4-1	4-2
45	48	4-1	4-2
46	49	4-1	4-2
47	50	4-1	4-2
48	51	4-1	4-2
49	52	4-1	4-2
50	53	4-1	4-2
51	54	4-1	4-2
52	55	4-1	4-2
53	56	4-1	4-2
54	57	4-1	4-2
55	58	4-1	4-2
56	59	4-1	4-2
57	60	4-1	4-2
58	61	4-1	4-2
59	62	4-1	4-2
60	63	4-1	4-2
61	64	4-1	4-2
62	65	4-1	4-2
63	66	4-1	4-2
64	67	4-1	4-2
65	68	4-1	4-2
66	69	4-1	4-2
67	70	4-1	4-2
68	71	4-1	4-2
69	72	4-1	4-2
70	73	4-1	4-2
71	74	4-1	4-2
72	75	4-1	4-2
73	76	4-1	4-2
74	77	4-1	4-2
75	78	4-1	4-2
76	79	4-1	4-2
77	80	4-1	4-2
78	81	4-1	4-2
79	82	4-1	4-2
80	83	4-1	4-2
81	84	4-1	4-2
82	85	4-1	4-2
83	86	4-1	4-2
84	87	4-1	4-2
85	88	4-1	4-2
86	89	4-1	4-2
87	90	4-1	4-2
88	91	4-1	4-2
89	92	4-1	4-2
90	93	4-1	4-2
91	94	4-1	4-2
92	95	4-1	4-2
93	96	4-1	4-2
94	97	4-1	4-2
95	98	4-1	4-2
96	99	4-1	4-2
97	100	4-1	4-2
98	101	4-1	4-2
99	102	4-1	4-2
100	103	4-1	4-2
101	104	4-1	4-2
102	105	4-1	4-2
103	106	4-1	4-2
104	107	4-1	4-2
105	108	4-1	4-2
106	109	4-1	4-2
107	110	4-1	4-2
108	111	4-1	4-2
109	112	4-1	4-2
110	113	4-1	4-2
111	114	4-1	4-2
112	115	4-1	4-2
113	116	4-1	4-2
114	117	4-1	4-2
115	118	4-1	4-2
116	119	4-1	4-2
117	120	4-1	4-2
118	121	4-1	4-2
119	122	4-1	4-2
120	123	4-1	4-2
121	124	4-1	4-2
122	125	4-1	4-2
123	126	4-1	4-2
124	127	4-1	4-2
125	128	4-1	4-2
126	129	4-1	4-2
127	130	4-1	4-2
128	131	4-1	4-2
129	132	4-1	4-2
130	133	4-1	4-2
131	134	4-1	4-2
132	135	4-1	4-2
133	136	4-1	4-2
134	137	4-1	4-2
135	138	4-1	4-2
136	139	4-1	4-2
137	140	4-1	4-2
138	141	4-1	4-2
139	142	4-1	4-2
140	143	4-1	4-2
141	144	4-1	4-2
142	145	4-1	4-2
143	146	4-1	4-2
144	147	4-1	4-2
145	148	4-1	4-2
146	149	4-1	4-2
147	150	4-1	4-2
148	151	4-1	4-2
149	152	4-1	4-2
150	153	4-1	4-2
151	154	4-1	4-2
152	155	4-1	4-2
153	156	4-1	4-2
154	157	4-1	4-2
155	158	4-1	4-2
156	159	4-1	4-2
157	160	4-1	4-2
158	161	4-1	4-2
159	162	4-1	4-2
160	163	4-1	4-2
161	164	4-1	4-2
162	165	4-1	4-2
163	166	4-1	4-2
164	167	4-1	4-2
165	168	4-1	4-2
166	169	4-1	4-2
167	170	4-1	4-2
168	171	4-1	4-2
169	172	4-1	4-2
170	173	4-1	4-2
171	174	4-1	4-2
172	175	4-1	4-2
173	176	4-1	4-2
174	177	4-1	4-2
175	178	4-1	4-2
176	179	4-1	4-2
177	180	4-1	4-2
178	181	4-1	4-2
179	182	4-1	4-2
180	183	4-1	4-2
181	184	4-1	4-2
182	185	4-1	4-2
183	186	4-1	4-2
184	187	4-1	4-2
185	188	4-1	4-2
186	189	4-1	4-2
187	190	4-1	4-2
188	191	4-1	4-2
189	192	4-1	4-2
190	193	4-1	4-2
191	194	4-1	4-2
192	195	4-1	4-2
193	196	4-1	4-2
194	197	4-1	4-2
195	198	4-1	4-2
196	199	4-1	4-2
197	200	4-1	4-2
198	201	4-1	4-2
199	202	4-1	4-2
200	203	4-1	4-2
201	204	4-1	4-2
202	205	4-1	4-2
203	206	4-1	4-2
204	207	4-1	4-2
205	208	4-1	4-2
206	209	4-1	4-2
207	210	4-1	4-2
208	211	4-1	4-2
209	212	4-1	4-2
210	213	4-1	4-2
211	214	4-1	4-2
212	215	4-1	4-2
213	216	4-1	4-2
214	217	4-1	4-2
215	218	4-1	4-2
216	219	4-1	4-2
217	220	4-1	4-2
218	221	4-1	4-2
219	222	4-1	4-2
220	223	4-1	4-2
221	224	4-1	4-2
222	225	4-1	4-2
223	226	4-1	4-2
224	227	4-1	4-2
225	228	4-1	4-2
226	229	4-1	4-2
227	230	4-1	4-2
228	231	4-1	4-2
229	232	4-1	4-2
230	233	4-1	4-2
231	234	4-1	4-2
232	235	4-1	4-2
233	236	4-1	4-2
234	237	4-1	4-2
235	238	4-1	4-2
236	239	4-1	4-2
237	240	4-1	4-2
238	241	4-1	4-2
239	242	4-1	4-2
240	243	4-1	4-2
241	244	4-1	4-2
242	245	4-1	4-2
243	246	4-1	4-2
244	247	4-1	4-2
245	248	4-1	4-2
246	249	4-1	4-2
247	250	4-1	4-2
248	251	4-1	4-2
249	252	4-1	4-2
250	253	4-1	4-2
251	254	4-1	4-2
252	255	4-1	4-2
253	256	4-1	4-2
254	257	4-1	4-2
255	258	4-1	4-2
256	259	4-1	4-2
257	260	4-1	4-2
258	261	4-1	4-2
259	262	4-1	4-2
260	263	4-1	4-2
261	264	4-1	4-2
262	265	4-1	4-2
263	266	4-1	4-2
264	267	4-1	4-2
265	268	4-1	4-2
266	269	4-1	4-2
267	270	4-1	4-2
268	271	4-1	4-2
269	272	4-1	4-2
270	273	4-1	4-2
271	274	4-1	4-2
272	275	4-1	4-2
273	276	4-1	4-2
274	277	4-1	4-2
275	278	4-1	4-2
276	279	4-1	4-2
277	280	4-1	4-2
278	281	4-1	4-2
279	282	4-1	4-2
280	283	4-1	4-2
281	284	4-1	4-2
282	285	4-1	4-2
283	286	4-1	4-2
284	287	4-1	4-2
285	288	4-1	4-2
286	289	4-1	4-2
287	290	4-1	4-2
288	291	4-1	4-2
289	292	4-1	4-2
290	293	4-1	4-2
291	294	4-1	4-2
292	295	4-1	4-2
293	296	4-1	4-2
294	297	4-1	4-2
295	298	4-1	4-2
296	299	4-1	4-2
297	300	4-1	4-2
298	301	4-1	4-2
299	302	4-1	4-2
300	303	4-1	4-2
301	304	4-1	4-2
302	305	4-1	4-2
303	306	4-1	4-2
304	307	4-1	4-2
305	308	4-1	4-2
306	309	4-1	4-2
307	310	4-1	4-2
308	311	4-1	4-2
309	312	4-1	4-2
310	313	4-1	4-2
311	314	4-1	4-2
312	315	4-1	4-2
313	316	4-1	4-2
314	317	4-1	4-2
315	318	4-1	4-2
316	319	4-1	4-2
317	320	4-1	4-2
318	321	4-1	4-2
319	322	4-1	4-2
320	323	4-1	4-2
321	324	4-1	4-2
322	325	4-1	4-2
323	326	4-1	4-2
324	327	4-1	4-2
325	328	4-1	4-2
326	329	4-1	4-2
327	330	4-1	4-2
328	331	4-1	4-2
329	332	4-1	4-2
330	333	4-1	4-2
331	334	4-1	4-2
332	335	4-1	4-2
333	336	4-1	4-2
334	337	4-1	4-2
335	338	4-1	4-2
336	339	4-1	4-2
337	340	4-1	4-2
338	341	4-1	4-2
339	342	4-1	4-2
340	343	4-1	4-2
341	344	4-1	4-2
342	345	4-1	4-2
343	346	4-1	4-2
344	347	4-1	4-2
345	348	4-1	4-2
346	349	4-1	4-2
347	350	4-1	4-2
348	351	4-1	4-2
349	352	4-1	4-2
350	353	4-1	4-2
351			

外壁改修工事（タイル張り仕上げ外壁）	2 欠損部改修工法	※充填工法	[4.2.2][4.3.7]										
		・エポキシ樹脂モルタル											
		・ポリマーセメントモルタル											
		・モルタル塗替え工法											
		・現場調査材料 セメント ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種											
		・既調合材料											
		既製目地材 ・使用する （形状）											
		仕上げ厚又は全塗厚が 25mm を超える場合の処置 ・（） ・図示											
		3 浮き部改修工法	[4.1.4][4.2.2][4.4.10～15]										
			改修工法の種類	アンカーピンの本数(本/㎡)		注入口の箇所数(箇所/㎡)		充填量	注入量				
一般部	指定部		一般部	指定部	(箇所/㎡)	(箇所/㎡)							
・アンカーピンニング	※16		※25	――	――	※25	――						
部分エポキシ樹脂注入工法	・		・	――	――	・	――						
・アンカーピンニング	※13		※20	※12	※20	――	※25						
全面エポキシ樹脂注入工法	・		・	・	・	――	・						
・アンカーピンニング	※13		※20	※12	※20	――	※50						
全面エポキシ樹脂注入工法	・		・	・	・	――	・						
・注入口付アンカーピンニング	※9		※16	――	――	※25	――						
部分エポキシ樹脂注入工法	・	・	――	――	・	――							
・注入口付アンカーピンニング	※9	※16	※9	※16	――	※25							
全面エポキシ樹脂注入工法	・	・	・	・	――	・							
・注入口付アンカーピンニング	※9	※16	※9	※16	――	※50							
全面エポキシ樹脂注入工法	・	・	・	・	――	・							
・充填工法													
・モルタル塗替え工法													
アンカーピン	[4.2.2]												
※ステンレス鋼（SUS304）呼び径 4mm の丸棒で全ネジ切り加工したもの	・（）												
注入口付アンカーピン ※ステンレス鋼（SUS304）呼び径 6mm程度	[4.1.4][4.2.2]												
・（）													
充填工法	[4.2.2][4.3.7]												
・エポキシ樹脂モルタル													
・ポリマーセメントモルタル													
モルタル塗替え工法													
・現場調査材料 セメント ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種													
・（）													
・既調合材料													
既製目地材 ・使用する （形状）													
仕上げ厚又は全塗厚が 25mm を超える場合の処置 ・（） ・図示													
外壁改修工事（タイル張り仕上げ外壁）	4-3 1 タイル	タイルの形状、寸法等	[4.2.2]										
		施工箇所	形状寸法	再生材	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐滑り性			
		(mm)	適用	G	I 類	II 類	III 類	施ゆう	無ゆう	あり	なし	標準	
		――	――	――	――	――	――	――	――	――	――	――	
		――	――	――	――	――	――	――	――	――	――	――	
		――	――	――	――	――	――	――	――	――	――	――	
		――	――	――	――	――	――	――	――	――	――	――	
		――	――	――	――	――	――	――	――	――	――	――	
		役物使用箇所 ※各部の形状は図示による											
		外 装	出隅、窓台、マガサ（標準一体成型品以外は接着成型品とする）										
見本焼き	・行う（） ※行わない												
試験張り	・行う（） ※行わない												
※樹脂注入工法	[4.1.4][4.2.2][4.3.4]												
種 類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)										
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	・	※130	・								
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※ 50～100	・	※ 40	・								
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	※100～200	・	※ 70	・								
	0.5以上～1.0未満	※150～250	・	※130	・								
エポキシ樹脂 ・低粘度形 ・中粘度形													
ひび割れ部の注入状況の確認方法 ※コア抜き検査（抜き取り部の補修方法：）													
・（）													
・ウカットシール材充填工法													
・シーリング材充填													
充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ・（）													
ポリマーセメントモルタルの充填 ・行う													
・可とう性エポキシ樹脂													
外壁改修工事（塗り仕上げ外壁等改修）	3 欠損部改修工法	・タイル部分張替え工法	[4.2.2][4.5.7]										
		接着剤の種類 ※ポリマーセメントモルタル											
		・一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系											
		張付け用材料											
		既調合モルタル ・使用する											
		・タイル張替え工法											
		[4.2.2][4.5.8]											
		接着剤の種類 ・張付けモルタル（・現場調査材料 ・既調合モルタル）											
		・一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系											
		張付け用材料											
既製調合モルタル ・使用する													
外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整塗材塗りの接着力試験 ・行う													
下地モルタル塗りをを行うコンクリート素地面の処理 ・目荒らし工法 ・（）													
・セメントモルタルによるタイル張り													
タイル張りの工法													
[4.5.8][(表4.5.4)]													
外装タイル ※密着張り ・改良圧着張り ・改良積上げ張り													
ユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り													
・有機系接着剤によるタイル張り													
タイルの種類 ・外装タイル ・ユニットタイル													
外壁改修工事（塗り仕上げ外壁等改修）	4 浮き部改修工法	[4.4.10～15][4.5.15]											
		改修工法の種類	アンカーピンの本数(本/㎡)		注入口の箇所数(箇所/㎡)		充填量	注入量					
		一般部	指定部	一般部	指定部	(箇所/㎡)	(箇所/㎡)						
		・アンカーピンニング	※16	※25	――	――	※25	――					
		部分エポキシ樹脂注入工法	・	・	――	――	・	――					
		・アンカーピンニング	※13	※20	※12	※20	――	※25					
		全面エポキシ樹脂注入工法	・	・	・	・	――	・					
		・アンカーピンニング	※13	※20	※12	※20	――	※50					
		全面エポキシ樹脂注入工法	・	・	・	・	――	・					
		・注入口付アンカーピンニング	※9	※16	――	――	※25	――					
部分エポキシ樹脂注入工法	・	・	――	――	・	――							
・注入口付アンカーピンニング	※9	※16	※9	※16	――	※25							
全面エポキシ樹脂注入工法	・	・	・	・	――	・							
・注入口付アンカーピンニング	※9	※16	※9	※16	――	※50							
全面エポキシ樹脂注入工法	・	・	・	・	――	・							
・注入口付アンカーピンニング	※9	※16	――	――	※25	――							
全面エポキシ樹脂注入工法	・	・	・	・	――	・							
・充填工法													
・モルタル塗替え工法													
アンカーピン	[4.2.2]												
※ステンレス鋼（SUS304）呼び径 4mm の丸棒で全ネジ切り加工したもの	・（）												
注入口付アンカーピン ※ステンレス鋼（SUS304）呼び径 6mm程度	[4.1.4][4.2.2]												
・（）													
タイル部分張替え工法	[4.2.2][4.5.7]												
接着剤の種類 ※ポリマーセメントモルタル													
・一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系													
張付け用材料													
既調合モルタル ・使用する													
・タイル張替え工法													
[4.2.2][4.5.8]													
接着剤の種類 ・張付けモルタル（・現場調査材料 ・既調合モルタル）													
・一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系													
張付け用材料													
既製調合モルタル ・使用する													
外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整塗材塗りの接着力試験 ・行う													
下地モルタル塗りをを行うコンクリート素地面の処理 ・目荒らし工法 ・（）													
・セメントモルタルによるタイル張り													
タイル張りの工法													
[4.5.8][(表4.5.4)]													
外装タイル ※密着張り ・改良圧着張り ・改良積上げ張り													
ユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り													
・有機系接着剤によるタイル張り													
タイルの種類 ・外装タイル ・ユニットタイル													
外壁改修工事（塗り仕上げ外壁等改修）	5 目地改修工法	[4.2.2][4.5.16]											
		・目地ひび割れ部改修工法											
		[4.2.2][4.5.16]											
		・伸縮調整目地改修工法											
		伸縮調整目地の位置及び寸法 ・（） ・図示											
		1 既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整											
		[4.6.3]											
		工 法		処理範囲			下地面の補修						
		・サンダー工法		※図示			・ひび割れ部改修工法						
		・高圧水洗工法		※図示			・浮き部改修工法						
・塗膜はく離工法		※図示			・欠損部改修工法								
・水洗工法		※図示			・								
2 下地調整材料													
※下地調整塗材（※C-2 ・ C-1 ・ CM-2）													
[4.6.3～4]													
・ポリマーセメントモルタル													
外壁改修工事（塗り仕上げ外壁等改修）	4-4 3 仕上げ塗材仕上げ	建物内部に使用するユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤（以下、「ユリア樹脂等」という。）を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・第三種											
		新規仕上塗材の種類											
		[4.1.5][4.2.2][表4.2.4]											
		種 類	呼び名	防火材料	仕上の形状								
		・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si	・	・砂壁状								
			・可とう形外装薄塗材Si	・	・ゆず肌状（・吹付け ・ローラー塗り）								
			・外装薄塗材E	・	・さざ波状 ・平たん状								
			・可とう形外装薄塗材E	・	・凹凸状（・吹付け ・こて塗り）								
			・防水形外装塗材E	・	・着色骨材砂壁状（・吹付け ・こて塗り）								
			・外装薄塗材S	・	・砂壁状じゅらく ・京壁状じゅらく								
・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材C	・	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状										
	・外装厚塗材Si	・	・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし										
	・外装厚塗材E	・	上塗材 ・適用する										
・複層仕上塗材	・複層塗材CE	・	・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸状										
	・可とう形複層塗材CE	・	耐候性 ※耐候形3種 ・										
	・複層塗材Si	・	上塗材										
	・複層塗材E	・	溶 媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱水溶系										
	・複層塗材RE	・	外 観 ※つやあり ・つやなし										
	・防水形複層塗材CE	・	・メタリック										
	・防水形複層塗材E	・											
	・防水形複層塗材RE	・											
・可とう系改修用仕上塗材	・可とう系改修塗材E	・	・平たん状 ・さざ波状 ・ゆず肌状										
	・可とう系改修塗材RE	・	耐候性 ※耐候形3種 ・										
	・可とう系改修塗材CE	・	上塗材										
			溶 媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱水溶系										
			外 観 ※つやあり ・つやなし										
			・メタリック										
4 マスチック塗材塗り													
種 別 ・A種 ・B種													
[4.1.5][4.7.2][表4.7.1]													
5 外壁用塗膜防水材塗り													
仕上の形状 ・凹凸状 ・凸部処理 ・ゆず肌状 ・さざ波状													
[4.2.2][表4.2.6]													
耐候性 ※JIS A 6909 耐候形1種 ・（）													
下地挙動緩衝材 ・適用する													
模様材の種類及び所要量 ・（） ・図示													
外壁用仕上塗料の種類及び所要量 ・（） ・図示													
外壁改修工事（塗り仕上げ外壁等改修）	5 1 改修工法	[5.1.3]											
		建具の種類		かぶせ工法	撤去工法	適用箇所							
		・アルミニウム製建具		・	・	・図示 ・							
		・樹脂製建具		――	・	・図示 ・							
		・鋼製建具		・外部	・	・図示 ・							
				・内部	・	・図示 ・							
		・鋼製軽量建具		・	・	・図示 ・							
		・ステンレス製建具		・	・	・図示 ・							
		新規に建具を設ける場合											
		壁部分の開口の開け方 ・（） ・図示											
新規建具周囲の補修工法及び範囲 ・（） ・図示													
外壁改修工事（塗り仕上げ外壁等改修）	2 防火戸	建具符号（）											
		[5.1.4]											
		防火戸、ヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動 ・適用する											
		3 見本の製作等											
		建具見本の製作 ・行う（建具符号：）											
		[5.1.5]											
		建具見本の程度 ・工事を使用するものとして、あらかじめ製作する											
		・納まり等がわかる程度											
		特殊な建具の仮組 ・行う（建具符号：）											
		4 防犯建物部品											
・適用する（）													
[5.1.7]													
外壁改修工事（塗り仕上げ外壁等改修）	5 アルミ合製建具	性能値等											
		[5.2.2～5][表5.2.1]											
		・外部に面する建具の性能等級 ・A種（S-4、A-3、W-4）（建具符号：）											
		・B種（S-5、A-3、W-4）（建具符号：建具リスト参照）											
		・C種（S-6、A-4、W-5）（建具符号：）											
		・屋内の建具の性能等級（）											
		防音ドアセット・防音サッシ ・適用する 遮音性の等級（）（建具符号：）											
		断熱ドアセット・断熱サッシ G ・適用する 断熱性の等級（）（建具符号：）											
		耐震ドアセット ・適用する 面内変形追従性の等級（）（建具符号：）											
		枠の見込み寸法 ・（） ・図示											
表面処理													
[表5.2.2]													
外部に面する建具 ※BB-1種 ・BB-2種（・標準色 ・特注色）													
屋内の建具 ※BC-1種（・標準色 ・特注色）													
結露水の処理方法 ・（） ・図示													
水切り板、ぜん板 ・（） ・図示													
特記仕様書（建築改修工事編）（3）													
こ第07086号 佐古保育所調理室空調改修2期工事													
一級建築士事務所登録第164号 TEL 088-823-5313													
株式会社 総合企画設計													
1級建築士登録第370412号													
松 本 賢 一		製 図		図 番		A-03							

6 網戸等

[5.2.3]			
種 類	材 質	線 径	網 目
・防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製	※0.25mm以上	※16～18メッシュ
・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法 15mm

7 樹脂製建具

性能値等 [5.2.2][5.3.2～5][表5.3.1]	
・外部に面する建具の性能等級 ・A種 (S-4、A-4、W-4) (建具符号:) ・B種 (S-5、A-4、W-5) (建具符号:) ・C種 (S-6、A-4、W-5) (建具符号:) ・屋内の建具の性能等級 () 防音ドアセット・防音サッシ ・適用する 遮音性の等級 () (建具符号:) 外部に面する建具 ・T-A種 ・T-B種 [5.3.2][表5.3.2] 断熱ドアセット・断熱サッシ [G] ・適用する 断熱性の等級 () (建具符号:) 外部に面する建具 ・H-A種 ・H-B種 ・H-C種 [5.3.2][表5.3.3] 枠の見込み寸法 ・ () ・図示 ガラス ※複層ガラス ・ () [5.3.3] 表面色 ※標準色 ・特注色 [5.3.4] 水切り板、ぜん板 ・ () ・図示 [5.3.5]	

8 鋼製建具

性能値等 [5.2.2][5.4.2]	
簡易気密型ドアセット ・適用する (建具符号:) 外部に面する建具の耐風圧性 ※S-4 ・S-5 ・S-6 [表5.2.1] 防音ドアセット・防音サッシ ・適用する 遮音性の等級 () (建具符号:) 断熱ドアセット・断熱サッシ [G] ・適用する 断熱性の等級 () (建具符号:) 断熱ドアセット・断熱サッシ [G] ・適用する 断熱性の等級 () (建具符号:) 耐震ドアセット ・適用する 面内変形追随性の等級 () (建具符号:)	

9 鋼製軽量建具

性能値等 [5.2.2][5.5.2]	
簡易気密型ドアセット ・適用する (建具符号:) 防音ドアセット・防音サッシ ・適用する 遮音性の等級 () (建具符号:) 断熱ドアセット・断熱サッシ [G] ・適用する 断熱性の等級 () (建具符号:) 耐震ドアセット ・適用する 面内変形追随性の等級 () (建具符号:) 鋼板 ※亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・カラー鋼板 [5.5.3] 召合わせ、縦小口包み板等の材質 ※鋼板 ・ステンレス ・アルミニウム	

10 ステンレス製建具

性能値等 [5.2.2][5.4.2][5.6.2]	
簡易気密型ドアセット ・適用する (建具符号:) 外部に面する建具の耐風圧性 ※S-4 ・S-5 ・S-6 [表5.2.1] 防音ドアセット・防音サッシ ・適用する 遮音性の等級 () (建具符号:) 断熱ドアセット・断熱サッシ [G] ・適用する 断熱性の等級 () (建具符号:) 耐震ドアセット ・適用する 面内変形追随性の等級 () (建具符号:) 表面仕上げ ※HL仕上げ ・鏡面仕上げ ・ () [5.6.4] ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ [5.6.5]	

11 木製建具

建具材の加工、組立時の含水率 ※B種 ・ () (16.7.2)	
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 (16.7.2) ※規制対象外 ・第三種 ・フラッシュ戸 (16.7.2～4) ・かまち戸 かまち樹種 (桧) 鏡板樹種 (桧) (16.7.2～4) ・ふすま 種別 (・I型 ・II型) (16.7.2～4) ふすま紙上張り (押入等の裏側以外) (・鳥の子 ・新鳥の子又はビニル紙程度) 縁仕上げ (・塗り縁 ・生地縁 (素地) ・生地縁 (ウレタンクリアー塗装)) ・戸ぶすま (16.7.2～4) ・紙張り障子 (16.7.2～4) 枠及びびくつずりの材料 ・ () ・図示 (16.7.2)	

12 鍵

マスターキー ・製作する ・製作しない [5.7.4] ・既存のマスターキーに合わせる その他の鍵 ※各室3本1組 鍵箱 ※無 ・有	
---	--

13 自動ドア開閉装置

自動ドア開閉装置の性能値等 [5.8.2～3][表5.8.1～4]			
種 類	防 錆	検出装置の種類	凍結防止装置
・引き戸用 駆動装置 ・SSLD-1 ・SSLD-2 ・DSLD-1 ・DSLD-2	・適用する ・適用しない	・光線(反射)センサー ・熱線センサー ・音波センサー ・光電センサー ・電波センサー ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ ・多機能トイレスイッチ	・行う (適用箇所は 建具表による) ・行わない
・多機能トイレ出入口 引き戸用駆動装置			

14 自閉式上吊り引戸装置

性能 ※改修標準仕様書表5.9.1による ・ () [5.9.3][表5.9.1]	
--	--

15 重量シャッター

シャッターの種類 ・管理用シャッター 耐風圧強度 () N/m ² [5.10.2] ・外壁用防火シャッター 耐風圧強度 () N/m ² ・屋内用防火シャッター ・屋内用防煙シャッター 開閉方式の種類 ※上部電動式(手動併用) ・上部手動式 [5.10.2][表5.10.1] 管理用シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない [5.10.2] スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) ・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 ※Z12又はF12 ・ ()	
--	--

16 軽量シャッター

開閉方式の種類 ※手動式 ・上部電動式(手動併用) [5.11.2][表5.11.1] 耐風圧強度 () N/m ² スラット 形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 [5.11.3～4] ・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 (※Z06又はF06 ・) ・JIS G 3322 (塗装溶融55%亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 (※Z90)	
--	--

17 オーバーヘッドドア

[5.12.2～3]			
セクション材料による区分	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材料
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板
耐風圧性能による区分 (・125 ・100 ・75 ・50) Pa			
・合わせガラス [5.13.2]			
品 種	構成種類	特性による種類	
※フロート合わせガラス	※フロート板合わせガラス ・熱線吸収、フロート板合わせガラス	・Ⅰ類	
・網入磨き合わせガラス	・網入磨き、フロート板合わせガラス ・網入磨き、熱線吸収板合わせガラス	・Ⅱ-1類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類	
・強化ガラス [5.13.2]			
品 種	種 類	特性による種類	
※フロートガラス	※フロート強化ガラス ・熱線吸収強化ガラス	・Ⅰ類 ・Ⅲ類	
・型板ガラス	※型板強化ガラス		
・熱線吸収板ガラス [5.13.2]			
品 種	特性による種類	色 調	
※熱線吸収フロート板ガラス ・熱線吸収 網入磨き板ガラス	・1種 ・2種	・ブルー ・グレー ・ブロンズ	
・複層ガラス [5.13.2]			
品 種	断熱性	日射取得性、日射遮蔽性	乾燥気体の種類
・断熱複層ガラス ・日射熱遮へい複層ガラス	・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6	・G ・S	・空気 ・アルゴン
・熱線反射ガラス [5.13.2]			
品 種	日射熱遮へい性	耐久性	ガラスの種類
※熱線反射ガラス ・高性能熱線反射ガラス	・1種 ・2種 ・3種	A種 A種・B種 B種	・ブルー ・グレー ・ブロンズ ・シルバー
反射皮膜面 映像調整	※内面 映像調整 ※行わない	・外面 ・行う	[5.13.4]
・倍強度ガラス [5.13.2]			
材料板ガラスによる種類の名称		色 調	
※フロート倍強度ガラス ・熱線吸収倍強度ガラス		・グレー ・ブルー ・ブロンズ	
・ガラスの留め材及び溝の大きさ [5.13.2～3][図5.13.1]			
建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)	
アルミニウム製	※シーリング材 ・ガasket ※グレイジングチャンネル形	※建具の製造所の仕様による ・図示 ・	
鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材 ・		
ステンレス製	※シーリング材 ・		
樹脂製	・シーリング材 ・ガasket ・グレイジングチャンネル形		

18 ガラス

名 称		種 類	張り面	性能値
※ガラス飛散防止フィルム		第2種	※内張り ・外張り	飛散防止率 D1
・				
品質 JIS A5759による				

19 ガラス用フィルム

[5.13.5]					
表面形状	呼び寸法	厚 さ	色 調 クリア 乳白	目地幅(mm) 平積み 曲面積み	伸縮調整目地(mm) ※6m以下ごとに幅10～25 ・図示 ・
正方形	・125×125	80	・	・	※無し ・有り
	・160×160	・95・125	・	・	
	・200×200	・95・125	・	・	
長方形	・320×320	95	・	・	・
	・250×125	80	・	・	
	・320×160	95	・	・	
曲面積みの曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とする。 壁用金属枠及び補強材 ・設ける (形状 ※図示 ・) 化粧目地モルタルの色 () 金属製化粧カバー 材 質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製 寸 法 ・図示 ・ () 形 状 ・図示 ・ ()					

20 ガラスブロック

[5.13.5]					
表面形状	呼び寸法	厚 さ	色 調 クリア 乳白	目地幅(mm) 平積み 曲面積み	伸縮調整目地(mm) ※6m以下ごとに幅10～25 ・図示 ・
正方形	・125×125	80	・	・	※無し ・有り
	・160×160	・95・125	・	・	
	・200×200	・95・125	・	・	
長方形	・320×320	95	・	・	・
	・250×125	80	・	・	
	・320×160	95	・	・	
曲面積みの曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とする。 壁用金属枠及び補強材 ・設ける (形状 ※図示 ・) 化粧目地モルタルの色 () 金属製化粧カバー 材 質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製 寸 法 ・図示 ・ () 形 状 ・図示 ・ ()					

21 付属電気設備

電動シャッター、自動扉、電動オーバーヘッドドアの電動機が三相電動機0.4KW以上の場合は、機器付属の操作盤内に電動機保護用遮断機及び進相用コンデンサーを設置する。					
---	--	--	--	--	--

6 内装改修工事

1 改修範囲

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 [6.1.3]
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示

天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 [6.1.3]
※壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示

既存天井の撤去に伴う取合い部の壁面の改修 ※既存のまま ・図示 [6.1.3]

2 既存床の撤去、下地補修

ビニル床シート等の除去 ※仕上材のみ(接着剤とも) [6.2.2]
・下地モルタルとも(※図示の範囲 ・撤去範囲全て)
合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法 [6.2.2]
改修後の床の清掃範囲 ・ () ・図示 [6.2.2]
ポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタル [4.2.2][6.2.2]
改修標準仕様書4.2.2.(4)(7)及び(イ)による

3 既存壁の撤去、下地補修

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 [4.4.9][6.3.2]
※モルタル塗り(塗り厚 25mm を超える場合の処置 ・行う) ・図示

4 木下地等 [G]

表面仕上げ
機械加工 ・A種 ※B種 ・C種
適用箇所 ()
手加工 ・H-A種 ・H-B種 ・H-C種 適用箇所 ()

5 木 材 [G]

本工事に使用する木材は、高知県内産材(高知県内の森林から生産された木材)を使用するものとする。但し、これにより難しいものは監督員の承認を得て使用すること。
日本農林規格JAS以外の材料を使用する場合は、日本農林規格の品質基準に準じたものとなっていることを証明する資料を監督職員に提出すること。
・代用樹種 ※使用できない ・使用箇所 ()

間伐材等の適用 ・使用する(使用箇所) [6.5.2][表6.5.3]
木材の含水率 ※A種 ・B種 (以降の表に記載のある場合はその数値を優先する)

ホルムアルデヒド放散量
※「1(各章共通事項) 7(室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策)」による。

6 製 材 [G]

・「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材 [6.5.2]

施工箇所	樹 種	寸法(mm)	等 級	形 状	保存処理	材面の品質

・「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材 [6.5.2]

施工箇所	樹 種	寸法(mm)	等 級	形 状	保存処理	材面の品質

・「製材の日本農林規格」以外の製材 [6.5.2]

施工箇所	樹 種	寸法(mm)	等 級	形 状	防虫処理	材面の品質
下地材	桧・杉		特一		・適用する	・
			特一		・適用する	造作材の場合 ※A種
			特一			

・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 [6.5.2]

施工箇所	樹 種	寸 法 (mm)	見付け材面数	見付け材面の品質
				※1等 ・2等

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材 [6.5.2]

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸 法 (mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質
						※1等 ・2等

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱 [6.5.2]

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸 法 (mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質

特記仕様書(建築改修工事編)(4)

こ第07086号 佐古保育所調理室空調改修2期工事

一級建築士事務所登録第164号 TEL 088-823-5313

株式会社 総合企画設計

1級建築士登録第370412号 松本賢一 製図 図番 A-04

環境配慮改修工事

6 砂利及び砂地業

7 捨コンクリート

杭頭の処理

・処理しない

・処理する

処理方法（切断にともなう補強方法含む）

・（ ）

・図示

杭頭の中詰め材料

・基礎のコンクリートと同調合のもの

・（ ）

杭の精度

・水平方向の位置ずれ

・杭径の1/4かつ100mm以下

・（ ）

・杭の傾斜

・1/100以内

・（ ）

記録する施工状況等

・（ ）

・図示

材 料

砂利 ※再生クラッシュラン

砂

・シルト

・山砂、川砂又は砕砂

厚 さ

60mm

・（ 100 ）mm

捨コンクリートの厚さ

・50mm

・（ 30 ）mm

設計基準強度

・18N/mm²

・（ ）N/mm²

スランプ

・15cm

・18cm

・（ ）cm

9 ①石綿含有建材の処理工事

施工調査

○石綿含有建材の事前調査

工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等により石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する。

・分析による石綿含有建材の調査

分析結果については、監督職員に報告すること

材料名		定性分析	定量分析
		・	・（ 室）
		・（ 室）	・（ 室）
		・（ 室）	・（ 室）

石綿粉じん濃度測定

測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所 (各施工箇所ごと)
・測定1	処理作業前	処理作業室内	・計	箇所
・測定2		調査対象室外部の付近	・計	箇所
・測定3	処理作業中	処理作業室内	・計	箇所
・測定4		セキュリティゾーン入口	・計	箇所
・測定5		集じん・排気装置の排出口吹出し口(処理作業室外)	出口吹出し風速1m/sec以下の位置	・計 箇所
・測定6		処理作業室外(敷地境界) (施工区画周辺)	・計 箇所	・計 箇所
・測定7	処理作業後(シト養生中)	処理作業室内	・計	箇所
・測定8	処理作業後シート	処理作業室内	・計	箇所
・測定9	撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近	・計	箇所

・自動測定器による測定

測定名称		測定方法	
・測定4	繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定	粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）、パーティクルカウンター	
・測定5			

・JIS K 3850-1に基づいた測定

	測定4,5	測定（ ）	測定（ ）
メンブレンフィルタ直径(mm)	25	47	47
試料の吸引流量(l/min)	5	10	10
試料の吸引時間(min)	30	120	240

石綿含有建材の処理

・石綿含有吹き付け材の除去

除去対象範囲

・（ ）

・図示

除去工法

※改修標準仕様書9.1.3(2)(7)による

・（ ）

除去した石綿含有吹き付け材等の飛散防止

※湿潤化

・固化

除去した石綿含有吹き付け材等の処分

・埋立処分(管理型最終処分場)

・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)

・石綿含有保温材等の除去

除去対象範囲

・（ ）

・図示

除去工法

・破碎して除去

・原型のまま手ばらし

除去した石綿含有保温材等の飛散防止

※湿潤化

・固化

除去した石綿含有保温材等の処分

・埋立処分(管理型最終処分場)

・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)

・石綿含有成形板の除去

除去対象範囲

・（ ）

・図示

除去した石綿含有成形板の処分

・石綿含有せつこうボード

※埋立処分(管理型最終処分場)

・石綿含有せつこうボードを除く石綿含有成形板

・埋立処分(管理型最終処分場)

・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)

石綿含有建材除去後の仕上げ工事

・（ ）

・図示

2 外断熱改修工事

3 断熱・防露改修工事

4 屋上緑化改修工事

5 透水性アスファルト舗装改修工事

断熱材の種類及び厚さ

・（ ）

・図示

外装材の種類及び防火性能

・（ ）

・図示

既存外壁の処置及び工法

・（ ）

・図示

ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を

使用した断熱材のホルムアルデヒド放散量

※「1(各章共通事項) 7(室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策)」による

・断熱材打込み工法

・断熱材後張り工法

種 類	厚さ(mm)	施工箇所
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材		
※押出法ポリスチレンフォーム断熱材		
・硬質ウレタンフォーム断熱材		
・フェノールフォーム断熱材		
・グラスウール	24K	壁:50mm 天井:100mm

・断熱材現場発泡工法

断熱材の種類

※A種1

・A種1H

厚さ(mm)

・25

・30

・（ ）

施工箇所

※窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレイン回りの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所

・図示

植栽基盤及び材料

※屋上緑化軽量システム

芝及び地被類の種類等

・（ ）

・図示

見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等

・（ ）

・図示

かん水装置

・設置する(種類

・（ ）

(工事区分は図示による)

既存保護層の撤去

・行う

新植した芝及び地被類の枯補償の期間

※引渡しの日から1年

・無し

・（ ）

既存舗装の撤去及び再利用

・（ ）

・図示

路床の材料

厚さは図示による

・凍上抑制層

※再生クラッシュラン

・クラッシュラン

・切込み砂利

・フィルター層

※砂

路床安定処理

・行う

※添加材料による安定処理

種類

・普通ポルトランドセメント

・フライアッシュセメントB種

・高炉セメントB種

・生石灰

・消石灰

添加量

kg/m³

(目標CBR ※3以上

・（ ）

目標CBRを満足する添加量の確認方法

・安定処理土のCBR試験

・（ ）

・ジオテキスタイル

単位面積質量

60g/m³以上

厚さ(mm)

0.5~1.0

引張強さ

98N/5cm(10kgf/5cm)以上

浸水係数

1.5×10⁻¹cm/sec以上

盛土の種別

・A種

・B種

・C種

・D種

・建設汚泥から再生した処理土

C種の場合、建設発生土受入量

()m³発生場所:

D種の場合は「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領(案)」により、六価クロム溶出試験を行う。

砂の粒度試験

※行う

・行わない

路床土の支持力比(CBR)試験

※行う

・行わない

路床の締固め度試験

※行う

・行わない

現場CBR試験

※行う

・行わない

発生土の処理

※構外搬出適切処理

「建設発生土情報交換システム」を活用し、適切に処理する

搬出調書等を監督職員に提出する

受入施設名:

受入場所:

受入条件

・交通整理員

・鉄板敷

・土質試験

・構内指定場所に敷き均し

・構内指定場所に堆積

路盤の厚さ(mm)

・（ ）

・図示

路盤材料

・砕石

(・クラッシュラン

・粒度調整砕石)

・再生材

(・クラッシュラン

・粒度調整砕石

・クラッシュラン鉄鋼スラグ

・粒度調整鉄鋼スラグ

・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ

舗装の構成

・（ ）

・図示

開粒度アスファルト混合物の抽出試験

※行う

・行わない

特記仕様書（建築改修工事編）（7）

こ第07086号 佐古保育所調理室空調改修2期工事

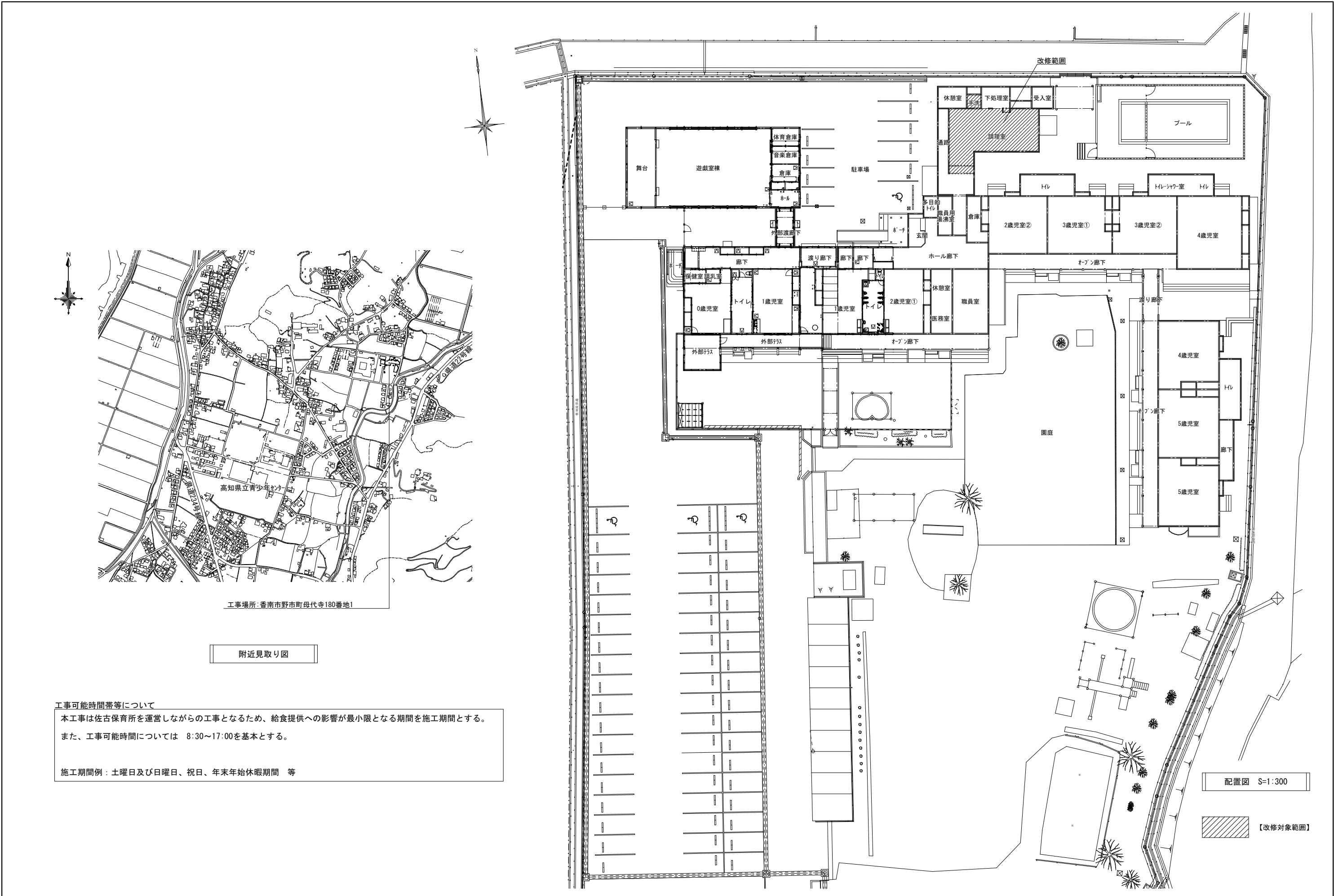
一級建築士事務所登録第164号 TEL 088-823-5313

株式会社 総合企画設計

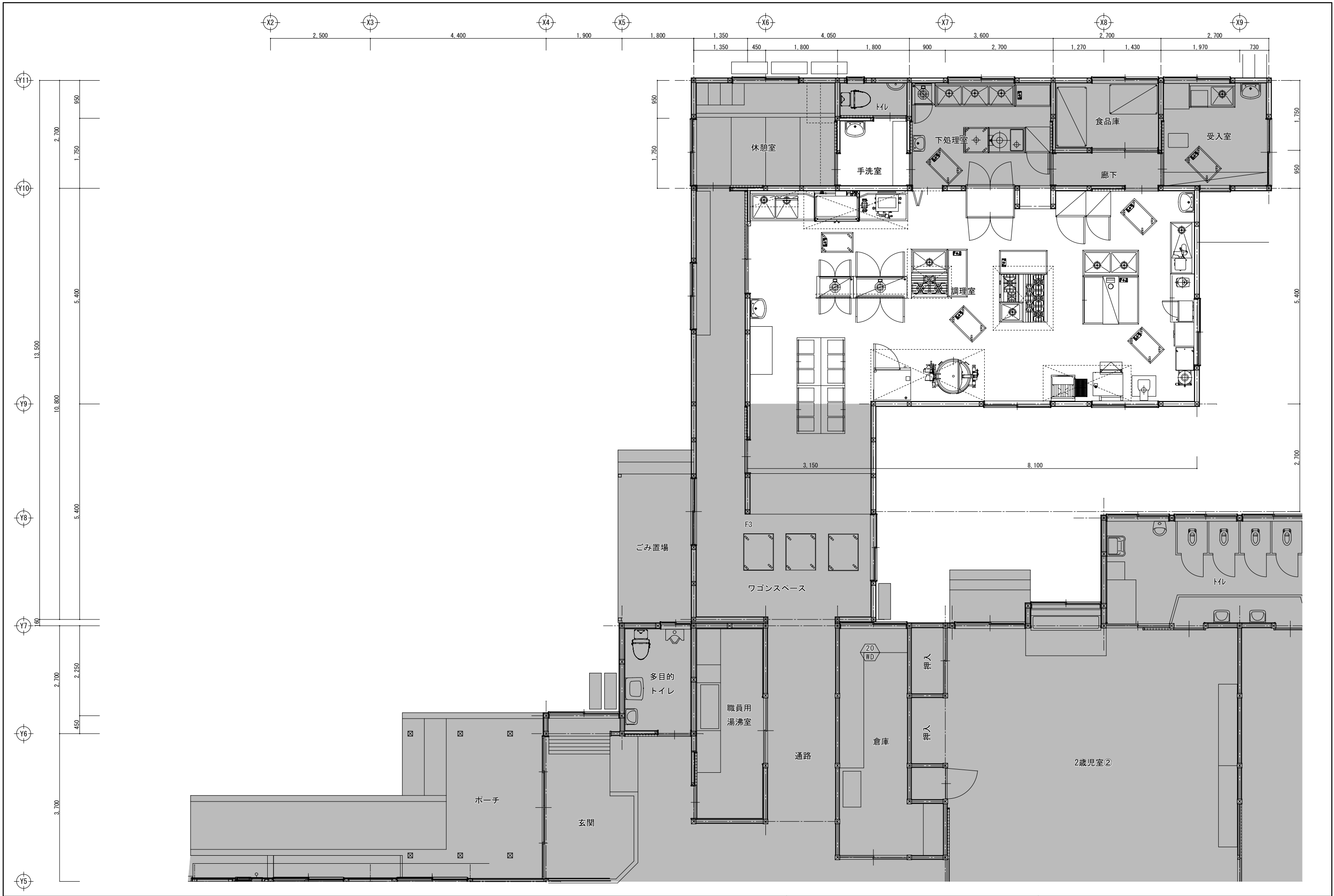
1級建築士登録第370412号 松本 賢一

製 図

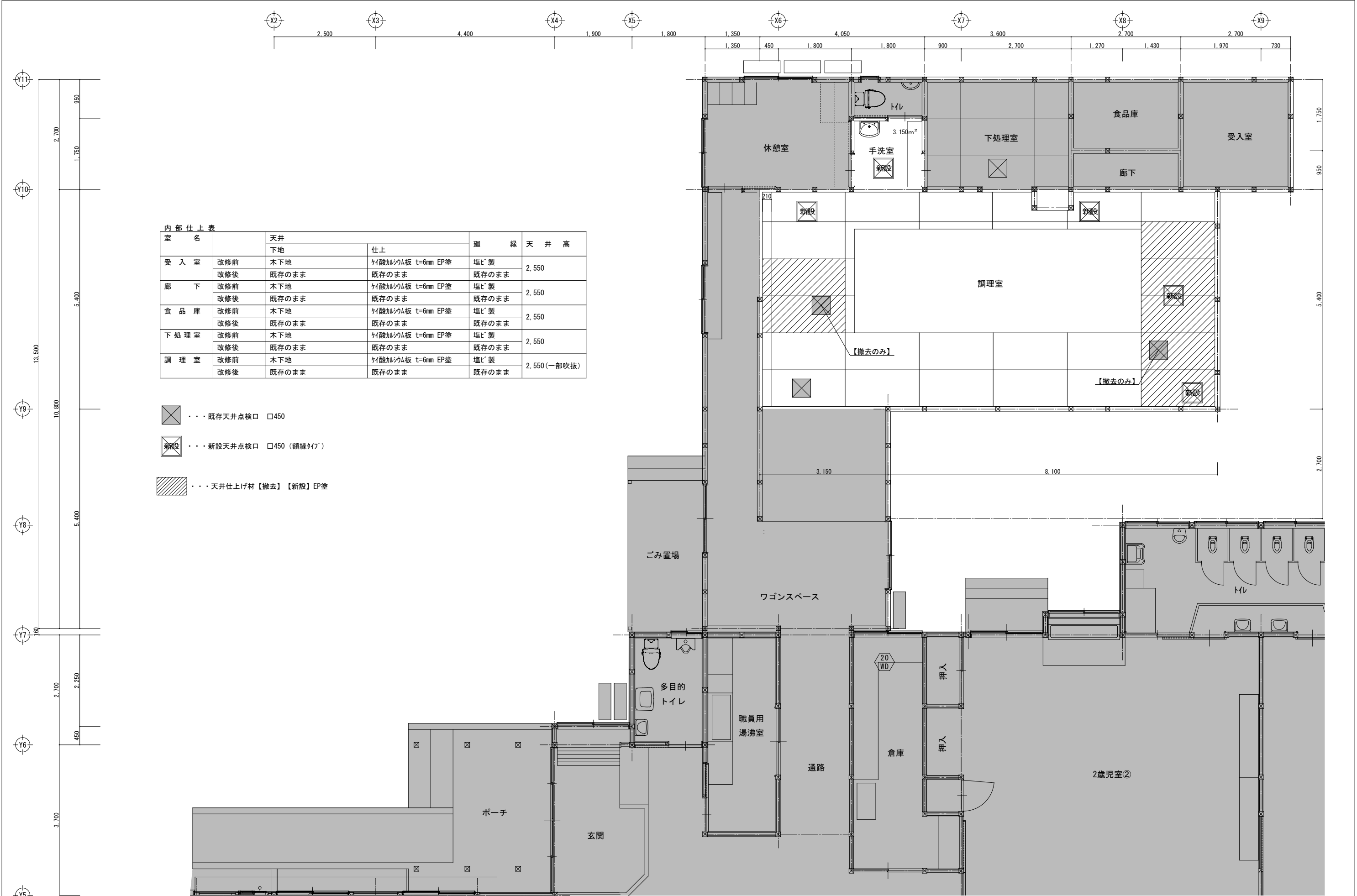
図 番 A-07



特 記					凡		例		一級建築士事務所登録第164号 株式会社 総合企画設計 TEL 088-823-5313		工 事 名	こ第07086号 佐古保育所調理室空調改修2期工事		
									1級建築士登録第370412号 松 本 賢 一		意 匠 図	附近見取り図・配置図		
									製 図		2025. 09. 10	縮 尺	S=1:300	図 番
									検 印					A-8



特 記		凡 例	一級建築士事務所登録第164号 株式会社 総合企画設計 1級建築士登録第370412号 松本 賢一			TEL 088-823-5313 工 事 名 こ第07086号 佐古保育所調理室空調改修2期工事 意 匠 図 2025. 09. 10			平面図 縮 尺 S=1 : 60 図 番 A-9		
			製 図			検 印					



特記		凡例	一級建築士事務所登録第164号			TEL 088-823-5313			工 事 名	こ第07086号 佐古保育所調理室空調改修2期工事		
			株式会社 総合企画設計						意 匠 図	天井伏図		
			1級建築士登録第370412号 松 本 賢 一			製 図	検 印		2025. 09. 10	縮 尺 S=1 : 60	図 番	A-10

外部仕上表									
巾木		土台水切	外壁		軒天		屋根		備考
下 地	仕 上		下 地	仕 上	下 地	仕 上	下 地	仕 上	ゴミ置き場 トステムサイクルポートキューブバーナ 22-18型寸法加工同等H1500 熱線吸収型ポリカーボネード板型
コンクリート	塗装型枠打ち放し ポン補修	7&ミ水切ステンカラー	TIP工法+通気胴縁+防水通気シート	ハーフボード37張りジョリバット吹付	本体	木組	ケイカル板6EP塗り	構造用合板12 +ケイカル板12	縦樋塩ビφ75VP塗り
	スリット型枠打ち放し						一部有孔ケイカル板6EP塗り	リフレックス断熱システム 野地板構造用合板28	塩ビドレーン
					庇棟	木組	杉板30化粧用野地板 /ソケット塗り	杉板30化粧用野地板	角飾り桟
							波型硬質塩ビ板網入り 葺一部野地板無し		縦樋塩ビφ75VP塗り
			鉄骨柱	亜鉛処理	庇棟鉄部		亜鉛処理		SUSHL幕板有り

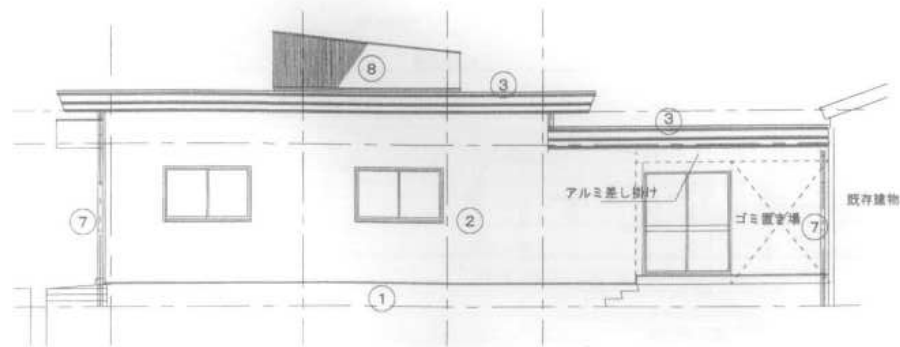
外壁はロックウール75又は100+
 TIP工法+透湿通気シート+通気胴縁
 +パワーボード37
 ジョリバット吹付け
 アルミEXPJ

 外部階段モルタルコテ押さえ
 磁気ノンスリップタイル

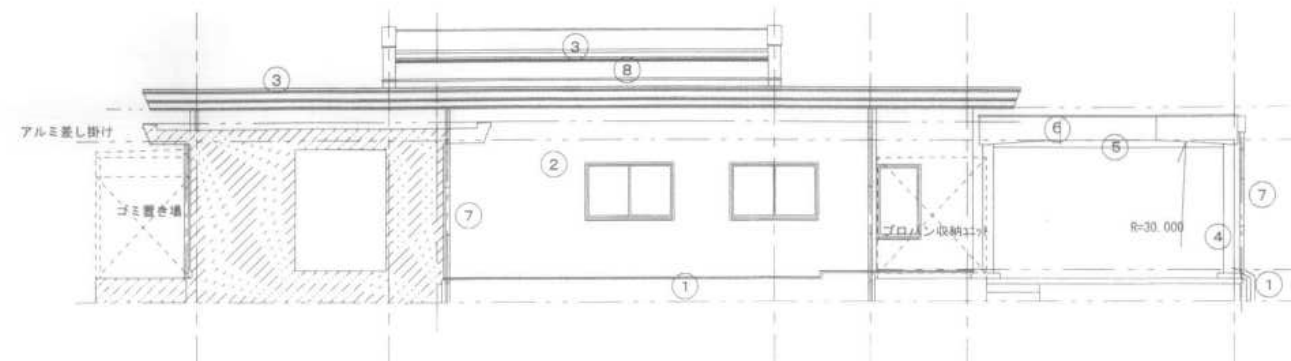
内部仕上表																
部 屋 名 称		床		巾 木			腰		壁			天 井			廻 縁	備 考
		下 地	仕 上	下 地	仕 上	H	下 地	仕 上	下 地	仕 上	H	下 地	仕 上	CH		
1F	受入室	コンクリート	磁器150タイル貼	コンクリート	磁器150タイル貼	140	木下地	ｶﾞﾙﾊﾞﾆｳﾑ鋼板貼	木下地	ケｲｶﾙ板8EP塗り		木組	ケｲｶﾙ板6EP塗り	FL+2550	塩ビ製	ｶﾞﾙﾊﾞﾆｳﾑ合板吊戸棚 L=2.645H=890 475 435 D=350
				木下地	桧UC塗り	60										
	廊下	構造用合板28 +複合ﾌﾗｸﾞ合板12	長尺塩ビシート2.0 東リ株 NS4400777ﾄﾚｯﾄ'同等	木下地	床材巻上げ	300	木下地	ｶﾞﾙﾊﾞﾆｳﾑ鋼板貼	木下地	ケｲｶﾙ板8EP塗り		木組	ケｲｶﾙ板6EP塗り	FL+2550	塩ビ製	
							ケｲｶﾙ板8									
	食品庫	構造用合板28 +複合ﾌﾗｸﾞ合板12	長尺塩ビシート2.0 東リ株 NS4400777ﾄﾚｯﾄ'同等	木下地	床材巻上げ	300	木下地	ｶﾞﾙﾊﾞﾆｳﾑ鋼板貼	木下地	ケｲｶﾙ板8EP塗り		木組	ケｲｶﾙ板6EP塗り	FL+2550	塩ビ製	
							ケｲｶﾙ板8									
	下処理室	構造用合板28 +複合ﾌﾗｸﾞ合板12	長尺塩ビシート2.0 東リ株 NS4400777ﾄﾚｯﾄ'同等	木下地	床材巻上げ	300	木下地	ｶﾞﾙﾊﾞﾆｳﾑ鋼板貼	木下地	ケｲｶﾙ板8EP塗り		木組	ケｲｶﾙ板6EP塗り	FL+2550	塩ビ製	
							ケｲｶﾙ板8									
	厨房室	構造用合板28 +複合ﾌﾗｸﾞ合板12	長尺塩ビシート2.0 東リ株 NS4400777ﾄﾚｯﾄ'同等	木下地	床材巻上げ	300	木下地	ｶﾞﾙﾊﾞﾆｳﾑ鋼板貼	木下地	ケｲｶﾙ板8EP塗り		木組	ケｲｶﾙ板6EP塗り	FL+2550	塩ビ製	排水ｼﾞｪｯﾄ'ﾚｰﾝｼﾝｸﾞ 両面ﾊｯﾁ*2
							ケｲｶﾙ板8									
	配膳ｺｳﾝﾀｰｽﾍﾞｰｽ	構造用合板28	杉板張り12（ワックス掛け）	木下地	桧UC塗り	60	木下地	桧小巾板UC塗り H=900見切りH=40	木組ﾗｽｷｰﾄ'7.0	珪藻土塗り		木下地+野地板28 +PB9.5	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ張り 準不（第0003）号 木部ﾉﾉﾛｯﾄ'塗り	FL+ｸﾛｽ下 まで		
	通路（西）	構造用合板28	杉板張り12（ワックス掛け）	木下地	桧UC塗り	60	木下地	桧小巾板UC塗り H=900見切りH=40	木組ﾗｽｷｰﾄ'7.0	珪藻土塗り		木下地+野地板28 +PB9.5	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ張り 準不（第0003）号 木部ﾉﾉﾛｯﾄ'塗り	FL+ｸﾛｽ下 まで		縁付け合板吊戸棚 L=1.695*2H=6000=350
ﾄｲﾚ	構造用合板28	杉板張り12（ワックス掛け）	木下地	桧UC塗り	60	木下地	桧小巾板UC塗り H=900見切りH=40	木組ﾗｽｷｰﾄ'7.0	珪藻土塗り		木下地+野地板28 +PB9.5	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ張り 準不（第0003）号 木部ﾉﾉﾛｯﾄ'塗り	FL+ｸﾛｽ下 まで			
手洗	構造用合板28	杉板張り12（ワックス掛け）	木下地	桧UC塗り	60	木下地	桧小巾板UC塗り H=900見切りH=40	木組ﾗｽｷｰﾄ'7.0	珪藻土塗り		木下地+野地板28 +PB9.5	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ張り 準不（第0003）号 木部ﾉﾉﾛｯﾄ'塗り	FL+ｸﾛｽ下 まで			
休憩事務室					60										縁付け合板吊戸棚 L=1.645H=6000=350	
	構造用合板28	ﾀﾀﾐ55 一部 杉板張り12（ワックス掛け）	木下地	既製桐板12 既製桐見切りH=40		木下地	桧小巾板UC塗り H=900見切りH=40	木組ﾗｽｷｰﾄ' t=7.0	珪藻土塗り		木下地+野地板28 +PB9.5	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ張り 準不（第0003）号 木部ﾉﾉﾛｯﾄ'塗り	FL+ｸﾛｽ下 まで		縁付け合板吊戸棚 L=2.595H=6000=350	

参考既存図

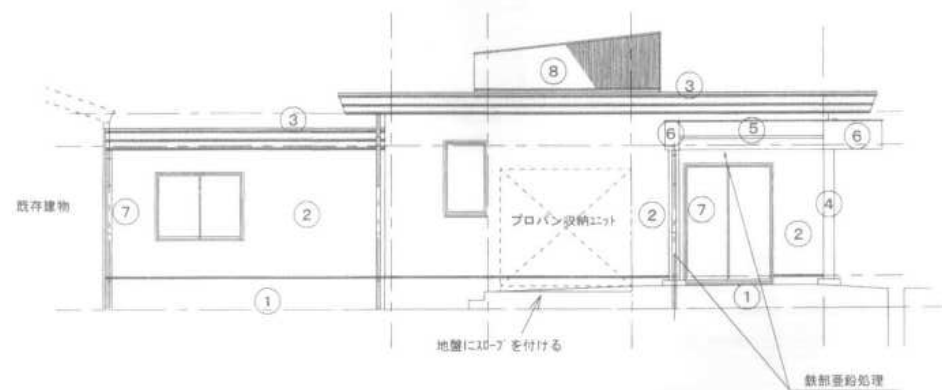
特 記		凡 例		一級建築士事務所登録第164号			TEL 088-823-5313			工 事 名	こ第07086号 佐古保育所調理室空調改修2期工事				
				株 式 会 社 総 合 企 画 設 計						意 匠 図	参考既存図 仕上表				
				1級建築士登録第370412号						2025.09.10	縮 尺			図 番 A-11	



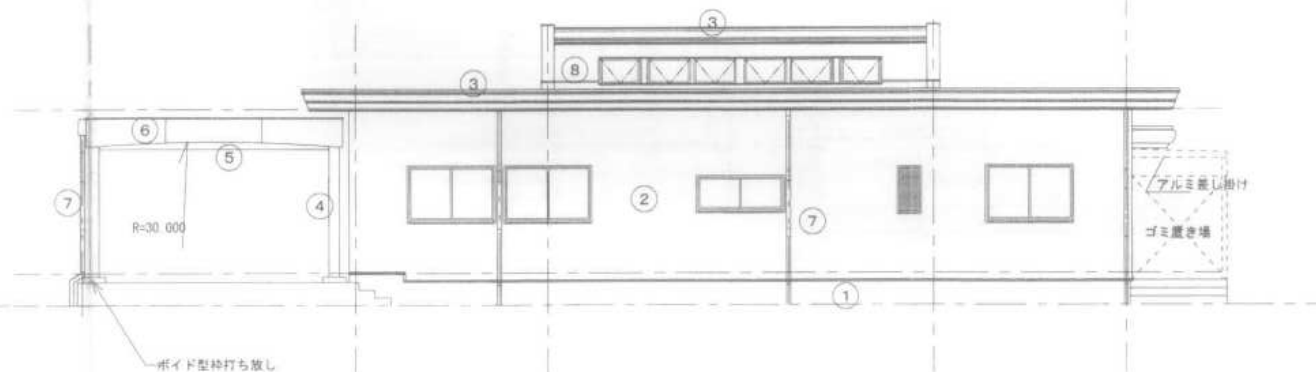
東立面図 S=1/100



南立面図 S=1/100



西立面図 S=1/100

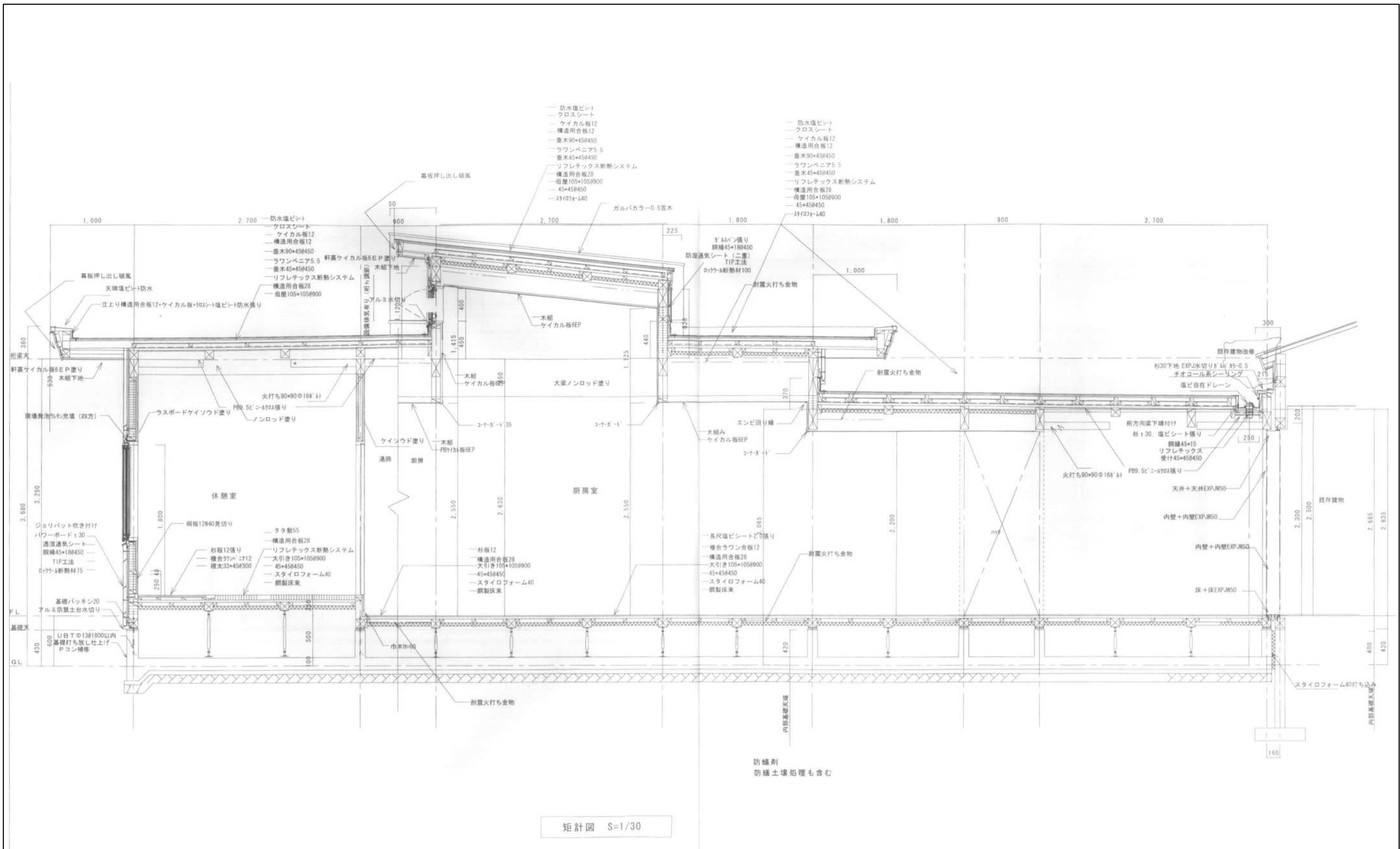


北立面図 S=1/100

①	基礎塗装型枠打ち放し補修
②	壁パワーボード37ジョリバット吹付け
③	押し出し成形幕板（1階2枚）
④	鋼材亜鉛処理
⑤	木梁ノンロッド塗り
⑥	幕板PB、12.5ガルバカラー0.5加工張り
⑦	縦樋塩ビ75VP塗り 控えSUS#900
⑧	ガルスパン張り

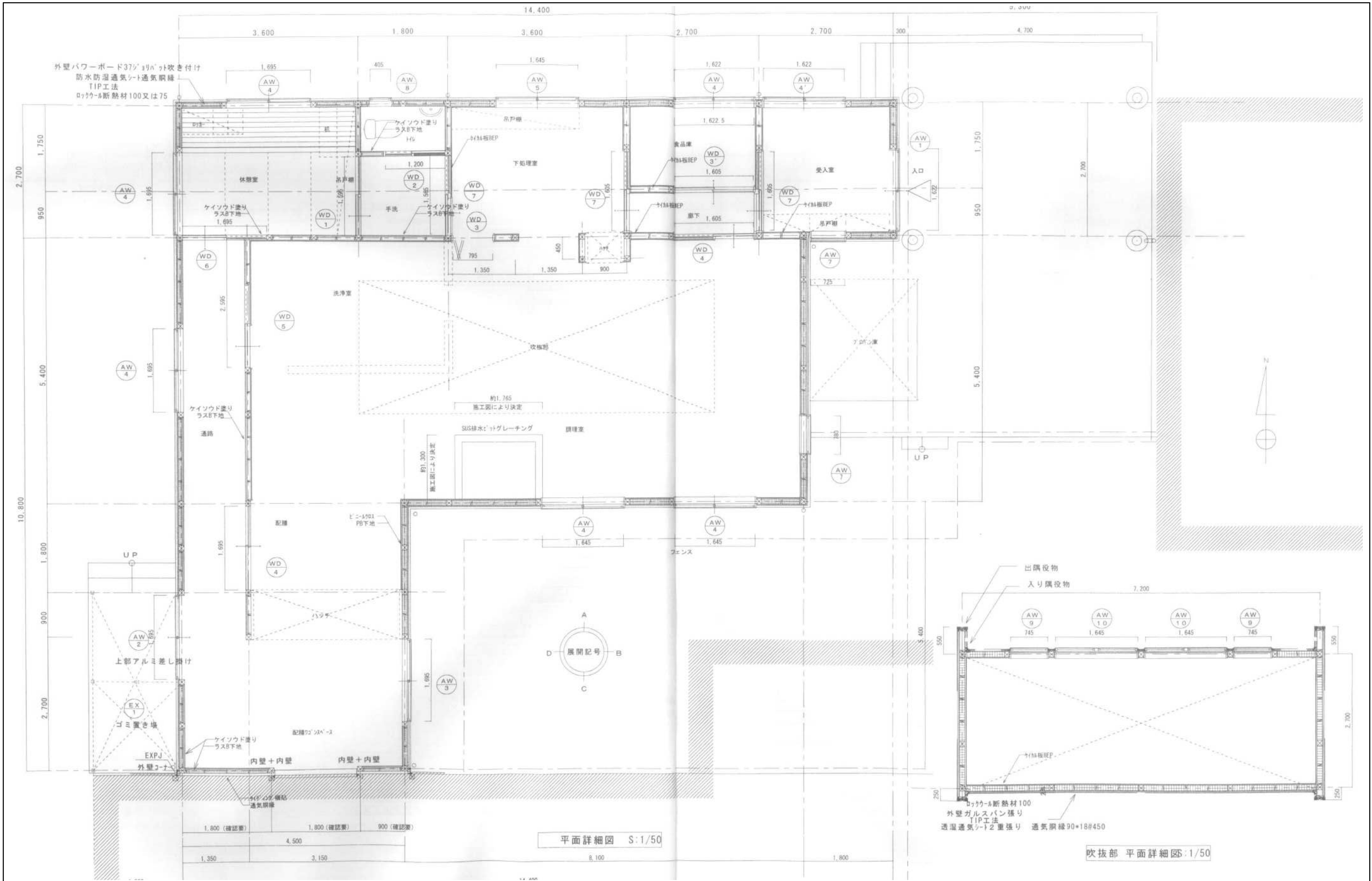
参考既存図

特 記		凡 例	一級建築士事務所登録第164号 株式会社 総合企画設計 1級建築士登録第370412号 松本 賢一	TEL 088-823-5313 製図 検印	工 事 名	こ第07086号 佐古保育所調理室空調改修2期工事		
					意 匠 図	参考既存図 立面図		
					2025. 09. 10	縮 尺	S=1 : 100	図 番 A-12



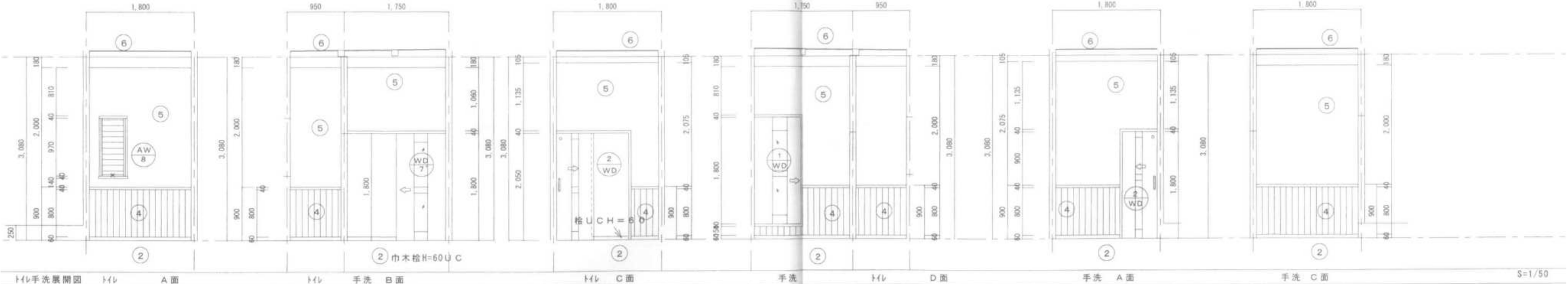
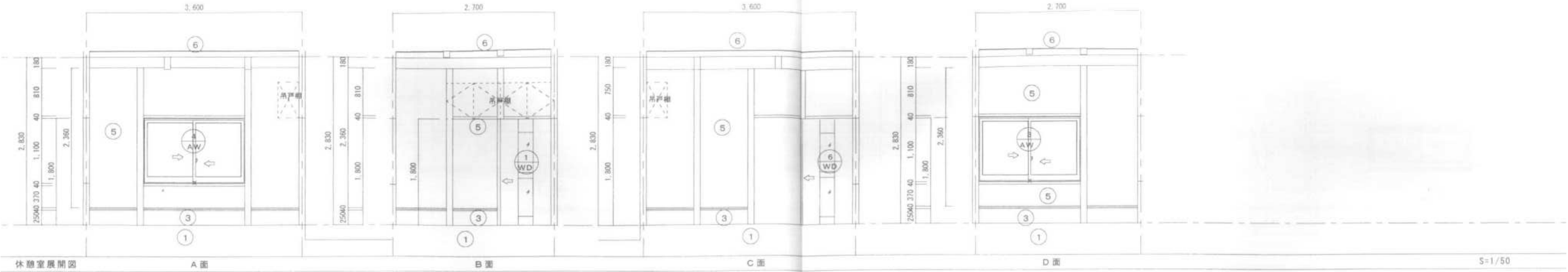
参考既存図

特 記		凡 例	一級建築士事務所登録第164号			TEL 088-823-5313			工 事 名	二第07086号 佐古保育所調理室空調改修2期工事		
			株 式 会 社 総 合 企 画 設 計						意 匠 図	参考既存図 矩計図		
			1級建築士登録第370412号						2025.09.10	縮 尺 S=1 : 30		図 番 A-13
			松 本 賢 一			製 図		検 印				



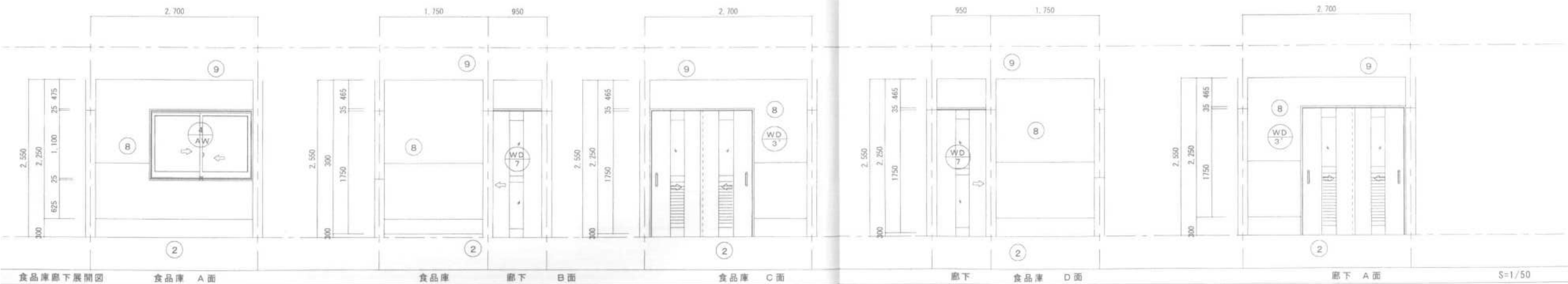
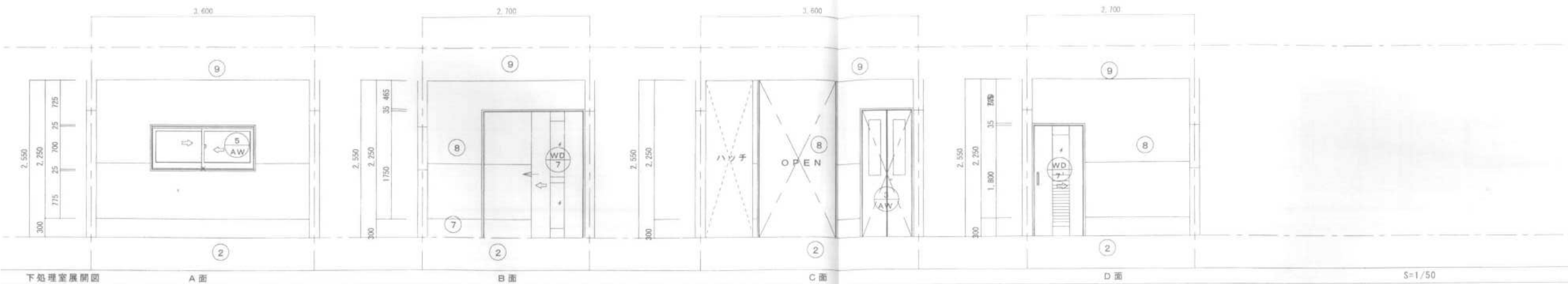
参考既存図

特 記		凡 例	一級建築士事務所登録第164号 株 式 会 社 総 合 企 画 設 計			TEL 088-823-5313	工 事 名	こ第07086号 佐古保育所調理室空調改修2期工事		
							意 匠 図	参考既存図 平面詳細図		
			1級建築士登録第370412号 松 本 賢 一			製 図	検 印	2025.09.10	縮 尺 S=1 : 50	図 番 A-14



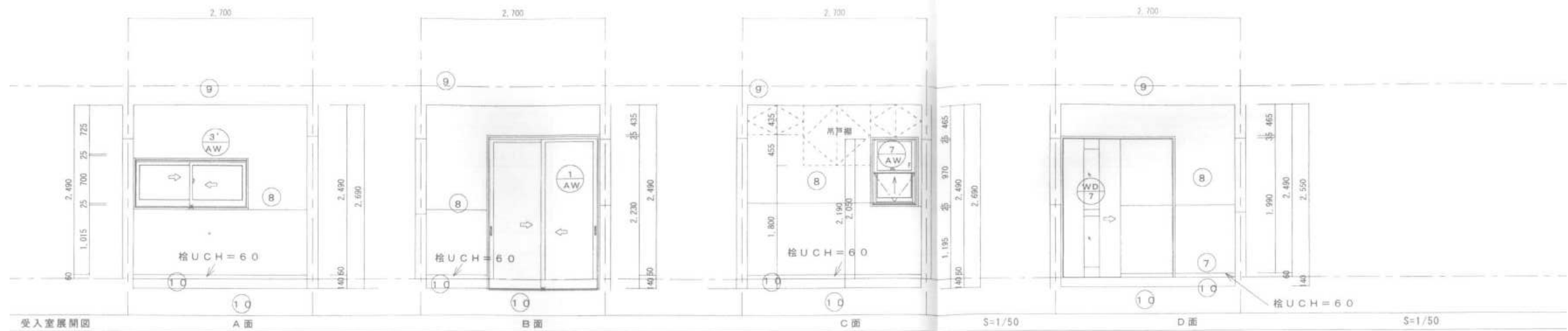
仕上げ符号		仕上げ符号		仕上げ符号	
①	床 畳敷 一部杉板12(ワックス)	④	腰 桧特一等小巾板本実張りUC塗り巾木H60見切りH40	⑦	巾木 ツツ巾木H=60
②	床 長尺塩ビシート2.0mm張り	⑤	壁 ラスボードケイソウド塗り	⑧	壁 珪藻板8目透かしEP塗り(既成コーナガード)
②'	床 部杉板12(ワックス)	⑥	天井梁類 ノンロッド塗り 野地板へPB19.5直張りビニールクロス張り	⑨	天井 珪藻板6目透かしEP塗り(塩ビ回り縁)
③	腰 桐板12張り桐材見切りH40H=290			⑩	床巾木 磁気150角タイル張り

参考既存図



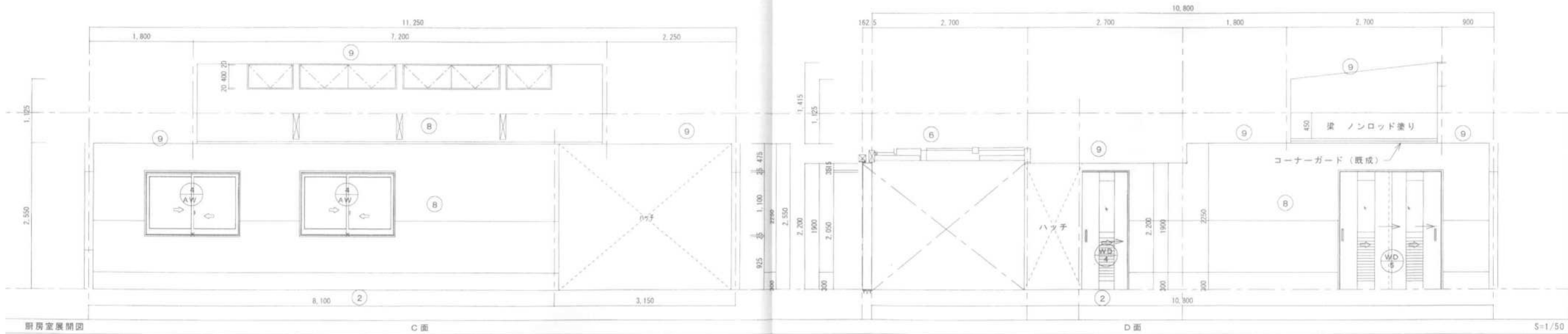
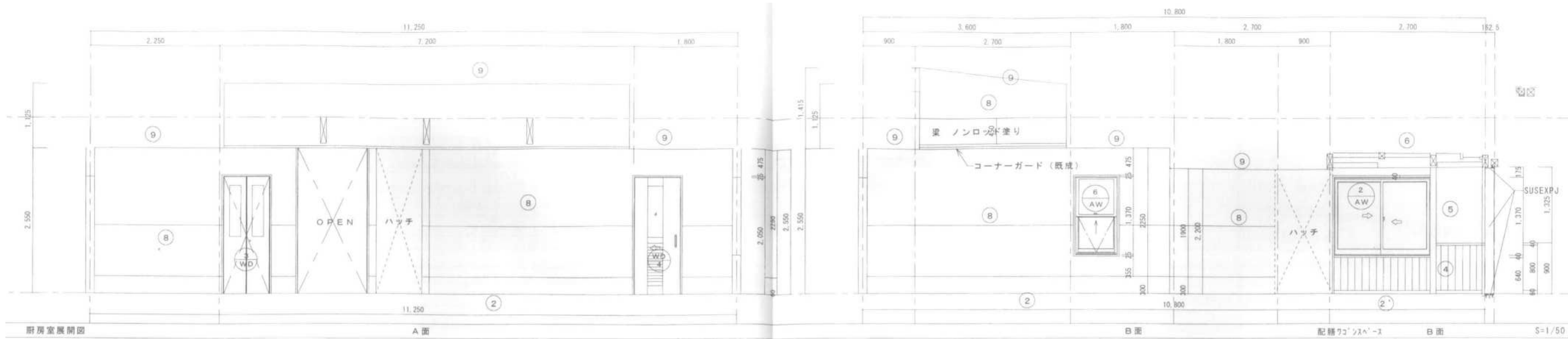
仕上げ符号		仕上げ符号		仕上げ符号	
①	床 畳敷 一部杉板12(ワックス)	④	腰 桧特一等小巾板本実張りUC塗り巾木H60見切りH40	⑦	巾木 ツナ巾木H=60
②	床 長尺塩ビシート2.0mm張り	⑤	壁 ラスボードケイソウド塗り	⑧	壁 ケイソウ板8目透かしEP塗り(既成コーナガード)
②'	床 節杉板12(ワックス)	⑥	天井梁類 ノンロッド塗り 野地板へPB19.5直張りビニール張り	⑨	天井 ケイソウ板6目透かしEP塗り(塩ビ回り縁)
③	腰 桐板12張り桐材見切りH40H=290			⑩	床巾木 磁気150角タイル張り

参考既存図



仕上げ符号		仕上げ符号		仕上げ符号	
①	床 畳敷 一部杉板12(ワックス)	④	壁 桧特一等小巾板本実張りUC塗り巾木H60見切りH40	⑦	巾木 ツナ巾木H=60
②	床 長尺塩ビシート2.0mm張り	⑤	壁 ラスボードケイソウ塗り	⑧	壁 ケイソウ板8目透かしEP塗り(既成コーナーガード)
②'	床 部杉板12(ワックス)	⑥	天井梁類 ノンロッド塗り 野地板へPB19.5直張りビニールクロス張り	⑨	天井 ケイソウ板6目透かしEP塗り(塩ビ回り縁)
③	腰 桐板12張り桐材見切りH40H=290			⑩	床巾木 磁気150角タイル張り

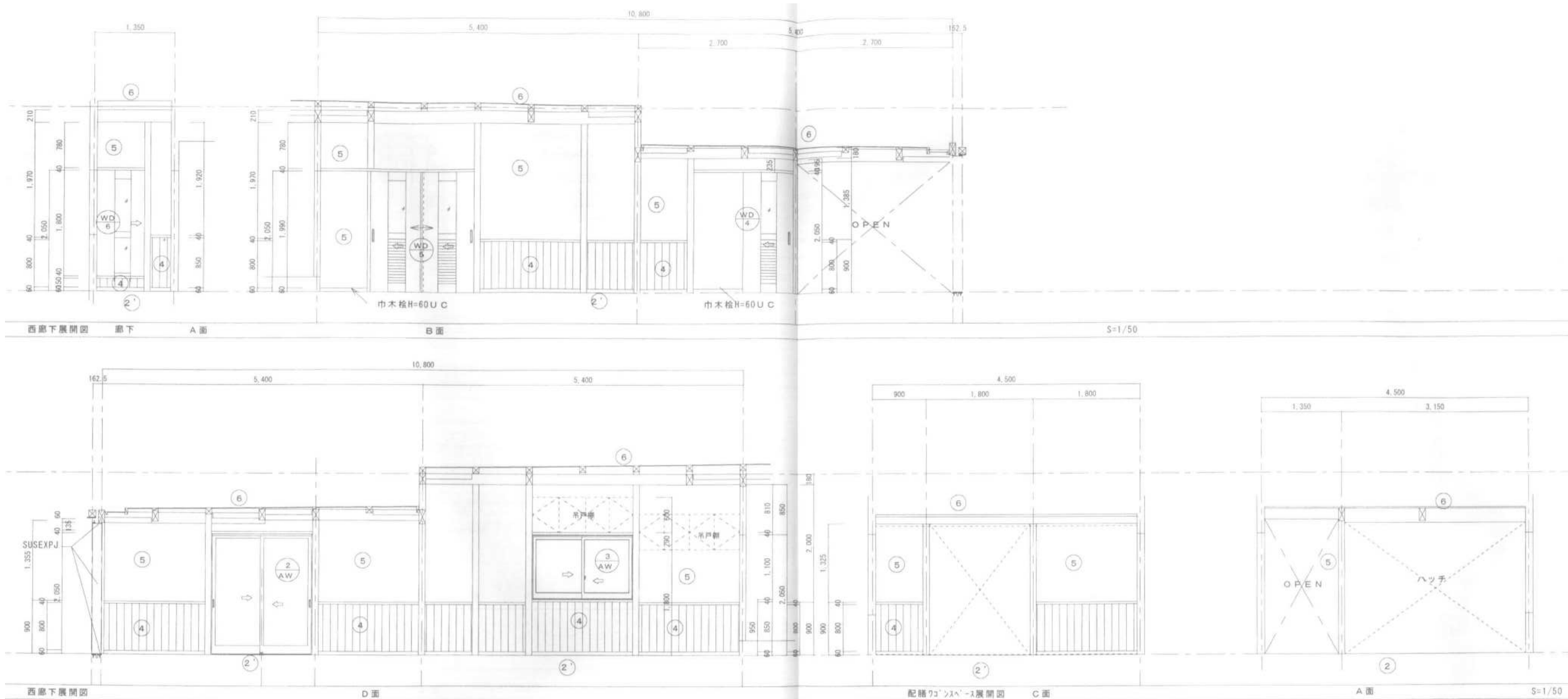
参考既存図



仕上げ符号		仕上げ符号		仕上げ符号	
①	床 畳敷 一部杉板12(ワックス)	④	壁 桧特一等小巾板本実張りUC塗り巾木H60見切りH40	⑦	巾木 ツツ巾木H=60
②	床 長尺塩ビシート2.0mm張り	⑤	壁 ラスボードケイソウド塗り	⑧	壁 ケイ酸板8目透かしEP塗り(既成コーナーガード)
②'	床 節杉板12(ワックス)	⑥	天井梁類 ノンロッド塗り 野地板へPB19.5直張りビニールクロス張り	⑨	天井 ケイ酸板6目透かしEP塗り(塩ビ回り縁)
③	腰 桐板12張り桐材見切りH40H=290			⑩	床巾木 磁気150角タイル張り

参考既存図

特 記		凡 例	一級建築士事務所登録第164号 株式会社 総合企画設計 1級建築士登録第370412号 松本 賢一	TEL 088-823-5313 製図 検印	工 事 名	こ第07086号 佐古保育所調理室空調改修2期工事	
					意 匠 図	参考既存図 展開図4	
					2025.09.10	縮 尺 S=1:50	図 番 A-18



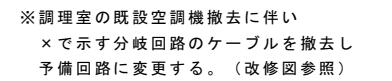
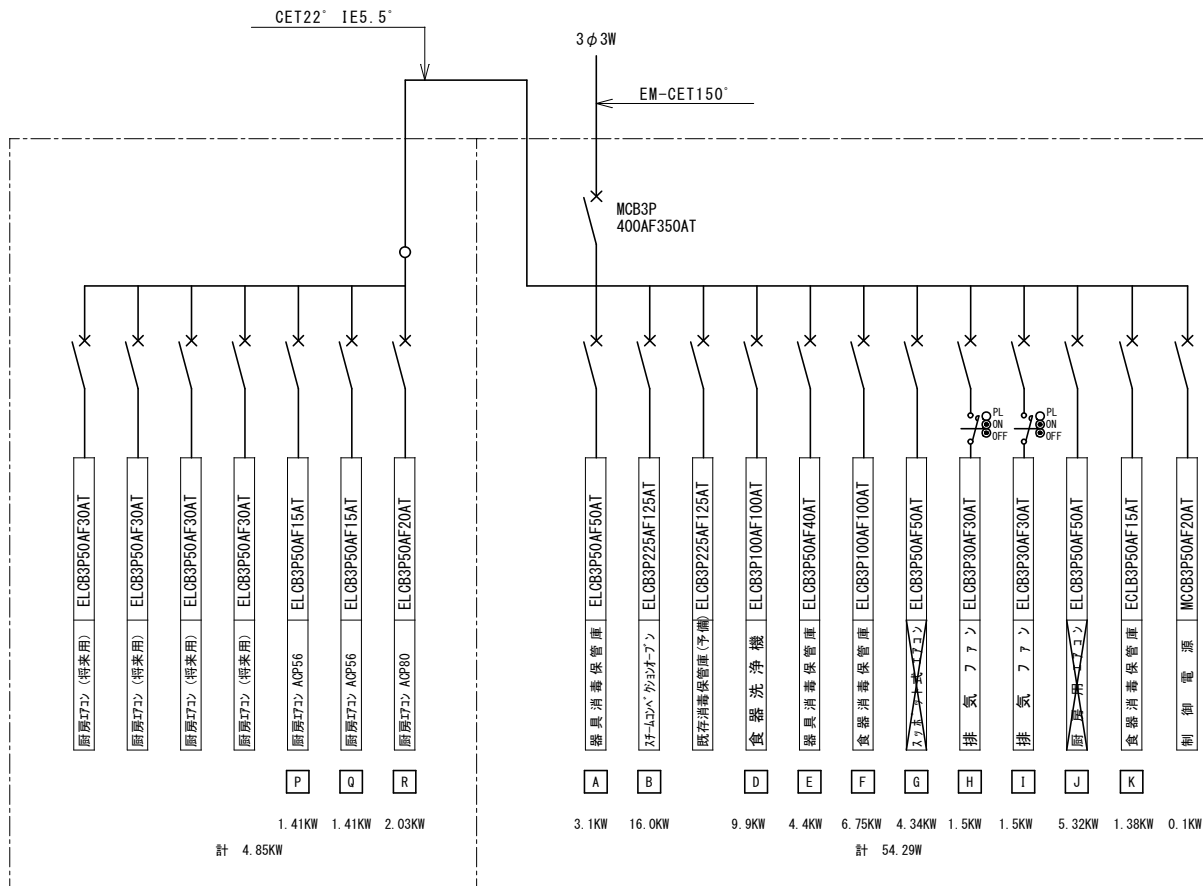
仕上げ符号		仕上げ符号		仕上げ符号	
①	床 畳敷 一部杉板12(ワックス)	④	腰 桧特一等小巾板本実張りUC塗り巾木H60見切りH40	⑦	巾木 リフト巾木H=60
②	床 長尺塩ビシート2.0mm張り	⑤	壁 ラスボードケイソウド塗り	⑧	壁 ケイホル板8目透かしEP塗り(既成コーナーガード)
②'	床 部杉板12(ワックス)	⑥	天井梁類 ノンロッド塗り 野地板へPB19.5直張りビニール張り	⑨	天井 ケイホル板6目透かしEP塗り(塩ビ回り縁)
③	腰 桐板12張り桐材見切りH40H=290			⑩	床巾木 磁気150角タイル張り

参考既存図

機材名		指定品	機材名		指定品	機材名		メーカー名	機材名		メーカー名	機材名		メーカー名	
電線管類・同付属品		J I S マーク表示品				LED照明器具		アイリスオーヤマ (株) 岩 崎 電 気 (株) (株) 遠藤照明 コイズミ照明株式会社 東芝ライテック (株) パナソニック (株) 三菱電機照明 (株) (株) YAMAGIWA 山田照明 (株)		蓄電池 ﾊﾞﾝﾄ形据置鉛蓄電池 制御弁式据置鉛蓄電池 据置ニッケル・ｶﾄﾞﾐｳﾑ7ｾﾘ蓄電池		エナジーウィズ株式会社 (株) GSユアサ 古河電池 (株)			
電線類等		国土交通省大臣官房官庁 営繕部監修の公共工事標準 仕様書 (電気設備工事編) J I S マーク表示品				照明制御装置		東芝ライテック (株) パナソニック (株) 三菱電機照明 (株)		監視カメラ装置		㈱JVCケンウッド・公共産業システム T O A (株) ﾊﾞﾅﾈｯｸｺﾈｸﾄ (株)			
耐火・耐熱ケーブル		耐火・耐熱電線認定機関 の認定または評価された 旨の表示をしたもの				可変速電動機用インバーター装置		(株) 日立産機システム 富士電機 (株) 三 菱 電 機 (株) (株) 安川電機		盤類 (公共建築工事標準仕様) 分電盤・制御盤 ｷｬﾋﾞﾅﾙ式配電盤		(株) イトウテック 共 栄 電 機 工 業 (株) 光 電 設 (株) 上記の他、令和6年版「建 築材料・設備機材等品質性 能評価事業 設備機材等評 価名簿」に掲載されたもの			
配線器具類		J I S マーク表示品				高圧交流遮断機 (真空)		東芝ｲﾝﾌﾗｽﾃﾑｽﾞ (株) 日 新 電 機 (株) (株) 日立産機システム 富士電機 (株) 富士電機機器制御 (株) 三 菱 電 機 (株) (株) 明 電 舎		太陽光発電装置		山洋電気 (株) (株) GSユアサ 東芝ｲﾝﾌﾗｽﾃﾑｽﾞ (株) パナソニック (株)			
配線用遮断機 JIS C 8201-2-1 に適合するもの 漏電遮断機 JIS C 8201-2-2 に適合するもの		J I S マーク表示品				高圧限流ヒューズ		(株)宇都宮電機製作所 エナジーサポート (株) 東芝ｲﾝﾌﾗｽﾃﾑｽﾞ (株) (株) 日立産機システム 富士電機機器制御 (株) 三菱電機 (株)		交流無停電電源装置 (UPS)		エナジーウィズ株式会社 山洋電気 (株) (株) GSユアサ 東芝ｲﾝﾌﾗｽﾃﾑｽﾞ (株) 富士電機 (株) 古河電池 (株) 三菱電機 (株) (株) 明電舎			
電磁接触器 JIS C 8201-1,JIS C 8201-4-1 に 適合するもの		J I S マーク表示品				高圧負荷開閉器		エナジーサポート (株) 大垣電機 (株) (株)新愛知電機製作所 (株) 戸上電機製作所 日本高圧電気 (株) (株) 日立産機システム 富士電機機器制御 (株) 三 菱 電 機 (株)							
低圧進相コンデンサ JIS C 4901 に適合するもの		J I S マーク表示品				高圧進相コンデンサ		(株) 指月電機製作所 東芝ｲﾝﾌﾗｽﾃﾑｽﾞ (株) ニ チ コ ン (株) 日 新 電 機 (株) 三 菱 電 機 (株) 利 昌 工 業 (株) ※ 1	※ 1 モールドコンデンサに限る						
指示電気計器 JISC1102 (指示電気計器)		J I S マーク表示品				高圧用変圧器		愛知電機 (株) 四 変 テ ッ ク (株) (株) ﾀﾞｲ ﾍﾞﾝ ﾀｶｵｶ化成工業 (株) ※ 2 (株) 東 光 高 岳 東芝ｲﾝﾌﾗｽﾃﾑｽﾞ (株) 日 新 電 機 (株) (株) 日立産機システム 富士電機 (株) 三 菱 電 機 (株) (株) 明 電 舎 利 昌 工 業 (株) ※ 2	※ 2 モールド変圧器に限る						
非常用照明器具		(社) 日本照明器具工業会 の J I L 適合マークが貼付 されたもの													
誘導灯器具		誘導灯認定委員会の認定 証票が貼付されたもの													
自家発電装置 付属する配電盤をふくむ		日本内燃力発電設備協会 の認定証票が貼付された もの													
防災電源用直流電源装置		蓄電池設備認定委員会の 認定証票が貼付されたもの													
自動閉鎖装置		連動機構・装置等自主評定 委員会の自主評定マークが 貼付されたもの													
非常放送装置の蓄電池		J E A 蓄電池設備認定委員 会の認定証票が貼付された もの													
非常警報装置 (非常ベル)		日本消防検定協会の認定 証票が貼付されたもの													
自動火災報知装置		日本消防検定協会の検定 合格証票が貼付されたもの													
構内交換装置		(財) 電気通信端末機器 審査協会の認定品													

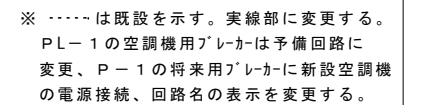
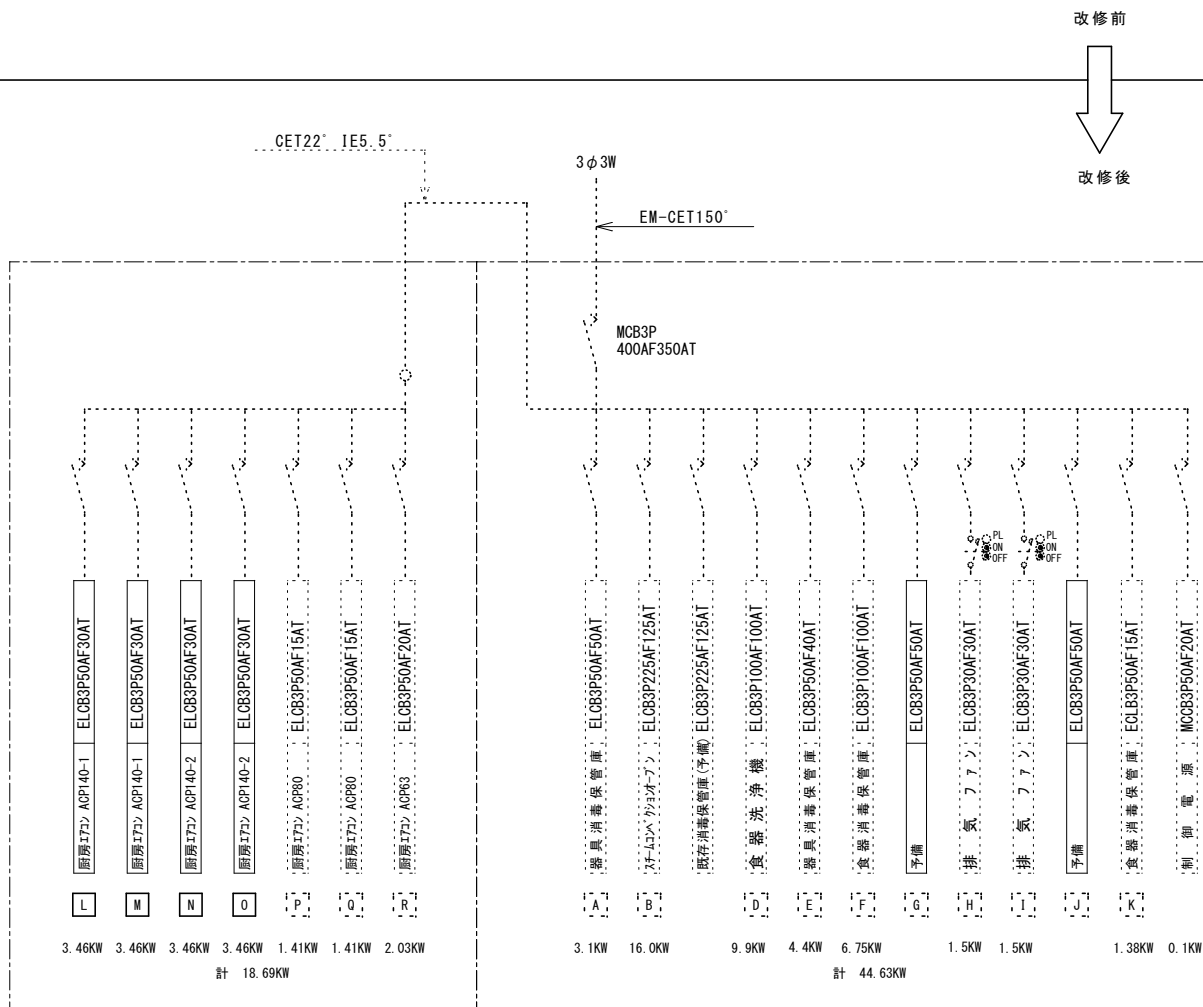
特 記					凡 例					一級建築士事務所登録第164号		TEL 088-823-5313		工 事 名	こ第07086号 佐古保育所調理室空調改修2期工事						
										株 式 会 社 総 合 企 画 設 計					電気設備図	電気設備機材指定表					
						1 級建築士登録第370412号					松 本 賢 一		製 図	検 印		2025. 09. 10		縮 尺		図 番	E-2

改修前

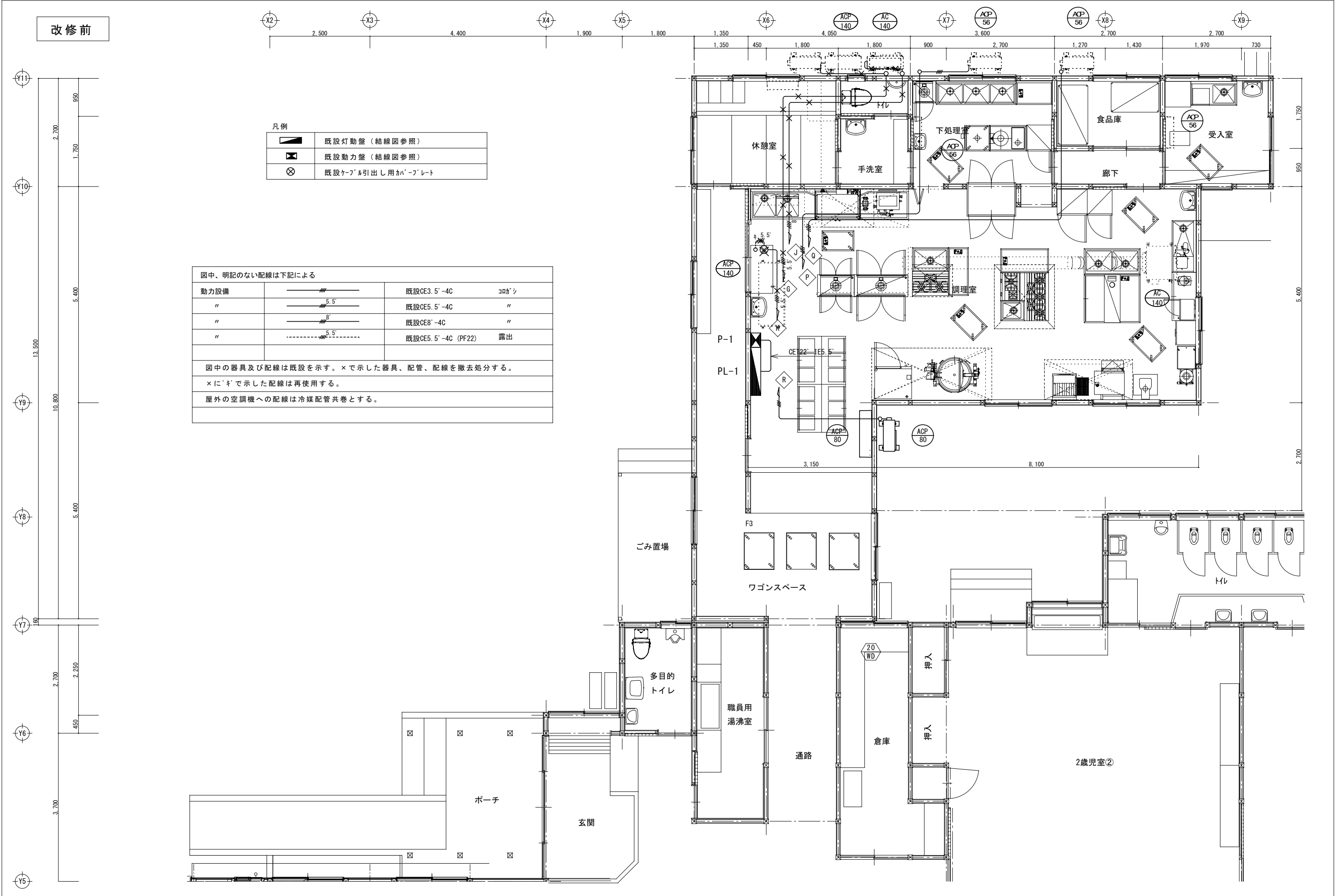


既設 P L - 1	自立型
------------	-----

改修後



既設 P L - 1 自立型



改修前

凡例

	既設灯動盤（結線図参照）
	既設動力盤（結線図参照）
	既設ケーブル引出し用カバープレート

図中、明記のない配線は下記による

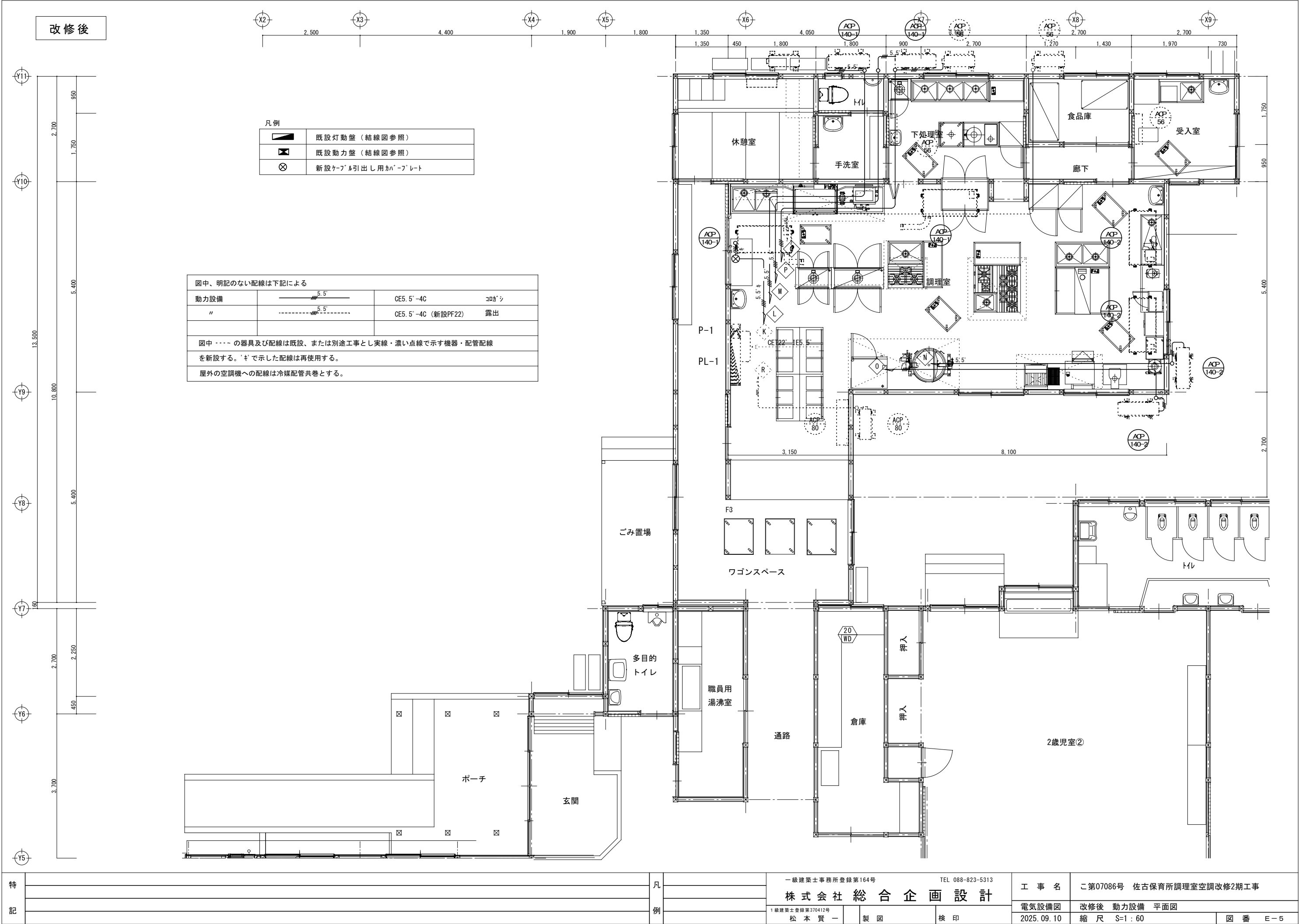
動力設備		既設CE3.5'-4C	コタシ
"		既設CE5.5'-4C	"
"		既設CE8'-4C	"
"		既設CE5.5'-4C (PF22)	露出

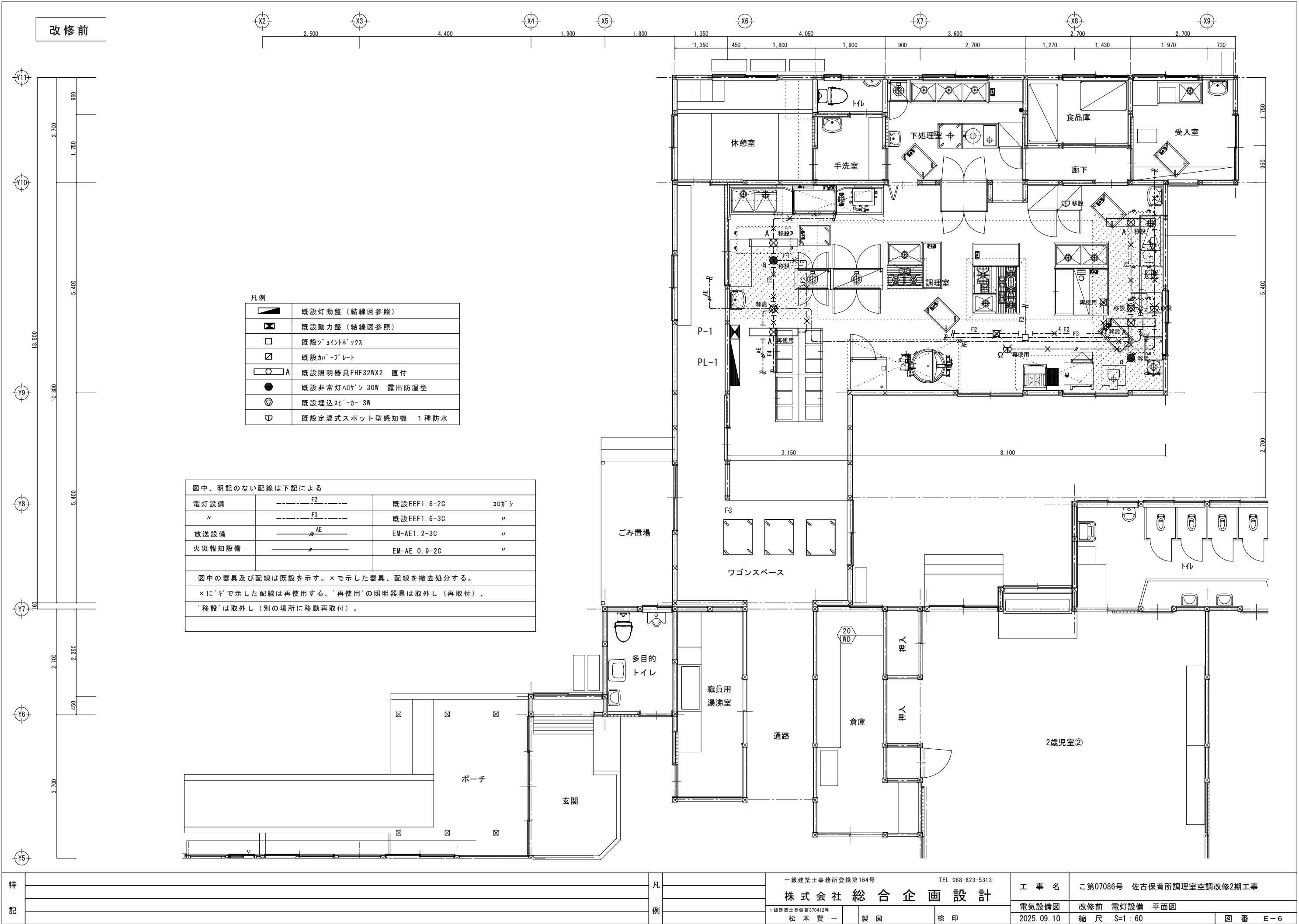
図中の器具及び配線は既設を示す。×で示した器具、配管、配線を撤去処分する。

×に'キ'で示した配線は再使用する。

屋外の空調機への配線は冷媒配管共巻とする。

特 記		凡 例	一級建築士事務所登録第164号			TEL 088-823-5313			工 事 名	こ第07086号 佐古保育所調理室空調改修2期工事		
	株 式 会 社 総 合 企 画 設 計											
	1級建築士登録第370412号						電氣設備図	改修前 動力設備 平面図				
	松 本 賢 一			製 図		検 印					2025.09.10	縮 尺 S=1 : 60





改修後

図中、明記のない配線は下記による

電灯設備	--- F2 ---	EEF1.6-2C	コロガシ
"	--- F3 ---	EEF1.6-3C	"
放送設備	--- AE ---	EM-AE1.2-3C	"
火災報知設備	--- # ---	EM-AE 0.9-2C	"

図中 - - - の器具及び配線は既設、または別途工事とし実線・濃い点線で示す機器・配線を新設する。'キ'で示した配線は再使用する。

'再使用'は取り外した機器を再取付、'移設'は別の場所に移動再取付。

※新設、移設の照明器具は造営材よりボルト吊りのこと。

凡例

図記号	説明
[斜線]	既設灯動盤（結線図参照）
[黒三角]	新設動力盤（結線図参照）
[白四角]	既設ジョイントボックス
[斜線+枠]	既設カバープレート
[A]	既設照明器具 FHF32WX2 直付
[●]	既設非常灯ハロゲン 30W 露出防湿型
[○]	既設埋込スポット 3W
[U]	既設定温式スポット型感知機 1種防水

照明器具仕様表

品名	仕様
A1	LED40形6900固定 V形150幅WP SUS
昼白色(5000K) Ra83 AC100V~242V共用タイプ 本体：ステンレス鋼板・白色仕上 光源寿命：40000時間 光束：6700lm 消費電力：43.0W 消費効率：155.8lm/W	
LSS9-MP/RP-4-64（新設）	

図面詳細情報：

- 平面図：各部屋（休憩室、手洗室、下処理室、食品庫、受入室、廊下、調理室、ワゴンスペース、多目的トイレ、職員用湯沸室、倉庫、2歳児室②、ポーチ、玄関）と設備（トイレ、洗面台、シンク、冷蔵庫、ガスコンロ、排気扇等）の配置を示す。
- 断面図：Y11, Y10, Y9, Y8, Y7, Y6, Y5 及び X2, X3, X4, X5, X6, X7, X8, X9 による建物の断面形状と階高（例：2.700m, 1.750m, 5.400m）を示す。
- 電気配線図：各機器への電源供給ルート（F2, F3, AE, #）と器具位置（A, A1, ●, ○, U）を明示する。
- 注釈：'再使用'と'移設'の箇所を特定し、新規設置の条件を確認する。

特 記 仕 様 書 (1)

工事名称

第06174号 佐古保育所調理室空調改修工事

設計年度(設計図)

令和6年度

工事期間(完成図)

令和 年 月 日～令和 年 月 日

工事場所

高知県香南市野市町母代寺180番地1

棟名

構

造

階

数

延床面積 (㎡)

用途地域

消防法施行令別表第一の区分

保育園(調理室)

木造

1

I 共通事項

種目

項目

特記仕様

(※及び●印をつけたものを適用する)

一般

適用仕様

※特記なき事項は、国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編 令和4年版)」(改修工事の場合は、「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編 令和4年版)」)及び「公共建築設備工事標準図(機械設備工事編 令和4年版)」による。

※国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修「工事写真撮影ガイドブック 機械設備工事編」

※国土交通省仕様

(例：外壁の地中部分等 水密を要する部分はツバ付鋼管スリーブ等。地中部分で水密を要しない部分はVUスリーブ。柱、梁以外の箇所、開口補強が不要でスリーブ径200mm以下は紙スリーブでもよい。)

○国土交通省仕様 ●メーカー仕様

※区画貫通処理の必要な箇所については、箇所別に設置場所・設置状況が確認できる記録を写真及び図面等で残す。

※「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説・平成8年度版」(建設大臣官庁官庁営繕部監修)

※「官庁施設の総合耐震計画基準・施工指針」(国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修 2014年版)による。

建物の種別： ○ 特定の施設 ● 一般の施設 地域係数： 1.0

1)設計用水平地震力は、機器の質量(自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量)に、地域係数及び設計用標準水平震度を乗じたものとする。

2)設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とする。

※基礎のアンカーボルト・吊り基礎ボルト・吊り金物及び防振を施す機器類の取付けボルトは、ロックナット又は2重ナットにて固定する。

※機器の固定に使用する金属系アンカーはスリーブ打込み式または、ウェッジ式とする。(県標準図16) ※ケミカルアンカーは、天井方向に使用しない。

※防振架台を設置する場合、耐震スตัパの調整を製造者の指定どおりに行うこと。

※一般土間コンクリート下部配管は耐震性のある吊りボルト(亜鉛ドブ漬又はステンレス製)にてスラブ筋に支持する。

※屋外及びビッド内配管の支持金物・吊り金物は亜鉛ドブ漬又はSUS製とする。屋内外露出部には既製品支持架台は使用しない。

※仕様のとおり吊り配管等を実施しても、他の資材配管等と干渉する場合は振れ止めを適宜設ける。

ねじ接合材

流体種別

給水

給湯

冷水水

管

材

等

種

別

ステンス管

ライン管

管

水栓金具

弁類

ステンス管

ライン管

管

弁類

ステンス管

ライン管

管

鋼管

弁類

テーブルシール材

(口)

(イ)

(口)

(口)

(口)

(口)

(口)

(口)

(口)

ベーストシール剤

(口)

(ハ)

(口)

(口)

(ハ)

(口)

(ハ)

(口)

(テーブルシール材)

※(イ) テーブルシール材は、JIS K 6885 (シール用四ふっ化エチレン樹脂未焼成テープ(生テープ))によるものとする。

注)水栓類は、防食シール材を用いない。テーブルシール材を使用する。

※(口) 一般用ベーストシール剤は、管内の流体に溶出せず、使用目的に適する成分のものとする。

※(ハ) 給水用、給湯用及び冷水水用の防食用ベーストシール剤は、JWWA K 161 (水道用ラインング鋼管用液状シール剤)に規定する水道用シール剤とする。

注)水道用シール剤において JWWA K 161 に適合している主なベーストシール剤は下記による。

ステンレス鋼管等防食の必要がないネジ部には水道用シール剤 (口)

(例：日本ヘルメテックス株式会社のヘルメシール 403・株式会社ヘルメテックのHERMETIC F-119・山王工業株式会社のヘルメテック No. A0-9など)

ラインング鋼管に使用する防食用ベーストシール剤 (ハ)

(例：日本ヘルメテックス株式会社のヘルメシール55-88-403・株式会社ヘルメテックのHT-Seal F-109・山王工業株式会社のヘルメテック No. A0-9など)

※ステンレス鋼管に取り付ける弁類は呼び径50以下は青銅製、呼び径65以上はステンレス製とする。

※サヤ管工法で施工する場合、サヤ管施工後に配管挿入を行うこと。(同時施工を行わない。)

○一般敷地300mm以上 ○車両通路600mm以上 ○公道800mm以上 ○公道1,000mm以上 ○公道1,200mm以上。

○埋設管は周囲100mm程度に保護砂を入れる。ただし排水管は別記による。

○量水器以降の埋設給水管はクイックチューブ等で巻く。

※石綿含有分析調査 ○本工事 ●別途 ○無し

※アスベスト含有品(ガスケット、パッキン、たわみ継手、保温材、天井材等)は関係法令に従い適切に処理を行う。

※構外搬出

その他 建設発生土の搬出先は上記を予定している。搬出先が変更となる場合は、設計変更の対象とする。

建設副産物

○構内指定場所に敷き均し ○構内指定場所に堆積

○アスファルト、アスファルト路盤は原則として再生品を使用する。

※浄化槽・樹類の砂利地業は原則として再生クラッシュランを使用する。(アスファルト再生品混じりは不可)

※本工事において、細骨材に海砂を配合した生コンクリートを使用する場合、高知県内産海砂を配合したものを優先的に使用するものとする。

※はつり、穴開け及びあと施工アンカー等の施工にあたり、埋設物の事前調査を行う。施工場所を鉄筋探査器により探査し、鉄筋・配管類の位置に墨出しを行う。なお、『コア抜き・はつり工事チェックリスト』を作成し段階確認を行って施工する。

※下記項目の総合調整を行い、測定表を監督職員に提出する。(測定場所等は監督職員の指示による。)

○風量調整 ●水量調整 ○室内外空気の湿度度の測定 ○騒音の測定 ○室内気流及びじんあいの測定

○配管施工(配管工事) ○熱絶縁施工(保温工事) ○建築板金施工(ダクト製作及び取付) ○冷凍空調調和機器施工 ○その他

完成図

※CADデータはOD-Rに保存して提出。

※画像データ(PDF形式)

※A4版黒紙金文字製本 1部

※2ツ折りA3版製本 1部

施工図

●CADデータはOD-Rに保存して提出。

●画像データ(PDF形式)

●2ツ折り製本(サイズは原因による)

工事管理資料(写し)

※フラットファイル等に閉じたもの。

工事写真

※フラットファイル等に閉じたもの。

工事日誌

※フラットファイル等に閉じたもの。

工具類

●マンホールフック ○制水弁ハンドル ○掃除口ハンドル

●(揮発性有機化合物)対策

対象建築材料等

使用制限

① 合板、木質フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、ウリア樹脂板、壁紙、繊維材、断熱材、保温材、仕上り塗材

F☆☆☆☆又は同等の大臣認定品とする。

② 塗料

ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有していない水性形のものとする。

③ 木材保存剤(防虫処理、防蟻処理等)

クロルピリホス、ダイアジノン、フェノバルブを含有しない、非有機リン系の薬剤とし、加圧式防虫・防蟻処理は工場で行い、十分乾燥した後に現場搬入する。

④ 内装用接着剤、木工用接着剤、配管用接着剤、接合剤

1)ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有していないものとする。
2)フタル酸ジ-n-ブチル、フタル酸ジ-2-ヘチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする。

⑤ 家具、書架、実験台、什器、洗面化粧台、流し台

①、②、③、④の建築材料を使用する場合はF☆☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合はF☆☆☆☆又は同等品を使用する。

室内に開く材料(上記②～④及び建具、シール材、その他その接着剤や塗料の溶剤まで含む)については、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、フタル酸ジ-n-ブチル、フタル酸ジ-2-ヘチルヘキシル、クロルピリホス、ダイアジノン、フェノバルブの有無または成分について一覧表に記入し、その資料を添付して提出するものとする。

配管材料

① 配管用炭素鋼鋼管【SGP黒管】(JIS G 3452)

② 配管用炭素鋼鋼管【SGP白管】(JIS G 3452)

③ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管【SGP-VA】(JWWA K 116・WSP 011)

④ 水道用内外面硬質塩化ビニルライニング鋼管【SGP=VD】(JWWA K 116)

⑤ 水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管【SGP-PA】(JWWA K 132・WSP 039)

⑥ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管【SGP-VS】(WSP 041)

⑦ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管【SGP-HVA】(JWWA K 140)

⑧ 一般配管用ステンレス鋼鋼管【SUS 304 TPD】(JIS G 3448)・・・60A以下は拡管式

⑨ 配管用ステンレス鋼鋼管【SUS 304】(JIS G 3459)

⑩ 水道用ダクトイル鑄鉄管【3種管】(JWWA G 113)

⑪ 鋼管【M】(JIS H 3300)

⑫ 外面被覆鋼管【M】(JIS H 3330) 給湯

⑬ 耐熱性硬質塩化ビニル管【HTVP】(JIS K 6776)

⑭ 水道用硬質塩化ビニル管【VWP】(JIS K 6742)

⑮ 耐衝撃性硬質塩化ビニル管【HIVP】(JIS K 6742)

⑯ 水道用ゴム輪形硬質ポリ塩化ビニル管【RR-VP】(JWWA K 127)

⑰ 水道用ゴム輪形耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管【RR-HIVP】(JWWA K 129)

⑱ 水道用ポリエチレン二層管 (JIS K 6762)

⑲ 水道配水用ポリエチレン管 (JWWA K 144)

⑳ 架橋ポリエチレン管 (5mm保温付)(水・湯)(先分岐工法、エスロカチット等)

㉑ ポリブデン管 (JIS K 6778)

㉒ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管【D-VA】(WSP 042)

㉓ 排水用ノントールエポキシ塗装鋼管 (WSP 032)

㉔ 排水用鑄鉄管【メカニカル形2種管】(JIS G 5525)

㉕ 鉛管(HASS 203)

㉖ 硬質ポリ塩化ビニル管【VP】(JIS K 6741)

㉗ 硬質ポリ塩化ビニル管【VU】(JIS K 6741)

㉘ 排水・通気用耐火二層管【内管VP】

㉙ 卵形管【ゴムリング】(JAWAS K-3)

㉚ プレキャスト鉄筋コンクリート製品 (JIS A 5372) ヒューム管

㉛ 硬質塩化ビニル被覆鋼管【ガス】(JIS G 3452原管) 白

㉜ ガス用ポリエチレン管 (JIS K 6774)

㉝ ガス用ステンレス製フレキシブル管【原管(JIS G 4305)によりガス用に製造されたもの】

㉞ 断熱材被覆鋼管【ポリエチレン保温材】(JCDA 0009) 冷媒

㉟ 屋外消火栓設備用高性能ポリエチレン管 (日本消防設備安全センターの性能認定取得品)

㊱ 空調用保温材付ドレン管【ポリエチレン保温材 NDD・MDP同等】(内管JIS規格品)

㊲ カラーパイプ

㊳ -

㊴ -

㊵ -

管種使用区分

工種 \ 場所	屋内一般	屋内ビット	屋内コンクリ	屋内土中	屋外埋設	屋外架空
給水(直圧)						
給水(一般)						
汚水						
雑排水						
通気						
ガス						
消火						
給湯						
器具接続						
冷温水						
冷却水						
冷媒	㉔					㉔
空調ドレン	㉕					㉖

塗装・防食

※ 垂鉛メッキ面の塗装下地は化学処理(エッチングプライマ)を施す。

※ 鋼管類のコンクリート内配管にはプラスチックテープ1/2重ね1回巻きとする。

※ 土中埋設する鑄鉄管、鑄鉄異形管(メカ型継手共)及び特殊継手類はポリスリーブ巻きとする。

● 居室等に露出して使用する配管支持金具類(電気メッキ品)は塗装(さび止めペイント・中塗り・上塗り)を施す。

※ 下記の露出配管、ダクト(ダクト構成部材含む)、電線管、フード類の塗装を行う。

屋外： ○ドレン管(指定色塗装) ○金属電線管(指定色塗装)

屋内： ○ダクト(指定色塗装) ○金属電線管(指定色塗装) ○フード類(指定色塗装)

保温・防露

工種 \ 場所	屋内露出	倉庫露出	天井・PS内	床下暗渠内	屋外露出	屋外埋設	備考
給水	a ₂ ()Ⅶ	a ₂ ()Ⅶ	(二)	d()Ⅶ	e ₃ ()Ⅶ		
排水・空調ドレン	(チ)+(ヲ)	a ₂ ()Ⅶ	c ₂ ()Ⅶ				
給湯	a ₂ ()Ⅰ	a ₂ ()Ⅰ	c ₂ ()Ⅰ	d()Ⅶ	e ₃ ()Ⅰ		
冷水・冷温水管	A()Ⅲ	A()Ⅲ	C ₁ ()Ⅲ	D()Ⅲ	E ₃ ()Ⅲ		
冷媒管	(チ)+(ヲ)	()	()	()	(チ)+(ヌ)		図示部のみスリムダクト
矩形状ダクト	J ₁ ()XI	J ₁ ()XI	I()XI		K ₂ ()XI		
スパイラルダクト	O ₁ ()XI	O ₁ ()XI	N()XI		P ₂ ()XI		
ガス							
エア－オイル							
(イ)ロックウール保温材		(ニ)簡易保温筒10mm		(ト)簡易耐熱保温筒20mm		(ヌ)ガルバリウム鋼板	
(ロ)グラスウール保温材		(ホ)簡易保温筒20mm		(チ)冷媒用被覆鋼管		(ル)カラーガルバリウム鋼板	
(ハ)ポリスチレンホーム保温材		(ヘ)簡易耐熱保温筒10mm		(リ)SUSラッキング		(ヲ)合成樹脂カバー	

● フレキシブルジョイントは配管に準じた保温・ラッキングを施す。

※ 器具類(洗面化粧台・給湯器・温水器等)と接続するステンレスフレキは簡易保温筒にテープ巻きを施すこと。

表示

※ 配管表記

①機械室・ビット・PS内・天井点検口付近には必ず表記する。

②表記内容は、流体・サイズ・系統名とする。

③場所・向き・文字サイズ等事前協議決定後に施工する。

※ 設計記号の付いている主要機器には、カットティングシート・ペンキ等にて表記(管理番号・室名・設置年月等)を行う。なお、該当する主要機器を事前確認する。

※ パッケージエアコン等の空調機は、室内外機に表記を行う。(県標準図13)

※ 水中に設置するような各種主要機器類(水中ポンプ等)は銘板を盤付近にも設ける。(製造者名、製造年月、形番、性能等を順記する。)

※ 屋外に設置するバルブ札は固定するか、表示方法を協議する。

※ バルブBOX内部に系統名・管サイズ・設置年月を書いたアクリル札を入れる。

※ 埋設バルブボックスの蓋の向きは流体の行き先側に蓋の付根を向ける。

※ 排水以外の屋外埋設管には曲・分岐部その他埋設管の位置が確認できるように標示紙(標示柱は県標準図8)を設ける。

※ 配管の埋戻し時は、GL-200mm程度に埋設表示用アルミテープ(W)を埋設する。(排水・通気管を除く)

発生材の処理

○ 引渡しを要するもの ()

○ 現場において再利用を図るもの ()

※ 再生資源化を図るもの ・コンクリート塊 ・アスファルトコンクリート塊 ・建設発生木材 ※廃石膏ボード等は、原則分別再利用処理とする。

※ 発生材搬出時の写真記録の方法は特記仕様書(共通編)による。

特 記		凡	一級建築士事務所登録第164号			TEL 088-823-5313			工 事 名	こ第07086号 佐古保育所調理室空調改修2期工事		
			株 式 会 社 総 合 企 画 設 計						機械設備図	機械設備 特記仕様書（1）		
		例	1 級建築士登録第370412号						2025. 09. 10	図 番 M - 1		
			松 本 賢 一			製 図 検 印						

特記仕様書（ 2 ）

Ⅱ 工事種目

○衛生器具設備

取付位置

大便器

化粧鏡

流量調整

洗濯機パンシール（コーキング）

※ 衛生器具及び周辺機器類の取付位置は総合図・展開図等を作成して、確認後に取付けること。
（特に、便器類と手すり・便器類と操作ボタン類・操作ボタン類と手すり等の位置関係に注意）
※ 和風大便器下面でコンクリートに接する部分はアスファルト塗布（3mm以上）とする。（県標準図1）
※ 和風大便器を防火区画に設置する場合、和風便器用耐火カバーを設ける。
※ 化粧鏡取付にあたっては落下破損防止のため、裏面シール材等による張付にて取付などの処置を施す。
※ 小便器・大便器等の手动フラッシュ弁流量調整は、下記の流出時間を目安とする。ただし、衛生器具のマニュアル等に記載があれば内容に準ずること。
大便器 8～10秒 小便器 8～10秒 自閉式水栓 7秒
※ 洗濯機パンを設置する床面は、耐荷重性と平滑性に注意する。
● 器具類と壁・床のシール（コーキング）打ちは右記の表による。

機器種別	設置場所の床が湿式(防水)		設置場所の床が乾式(非防水)	
	壁	床	壁	床
洋風便器	－	不	－	不
洗面器類	不	－	要	不
掃除流し	不	－	要	不
洗濯流し	不	－	要	不
洗濯パン	－	－	要	不
ステンレス流し台	要	不	要	不
化粧棚	不	－	要	－

壁・床の仕様にかかわらず、自動水栓装置・コンセント・非常呼出しなど電気機器類に水かかりが好ましくない場合はシール打ちを施す。

○給水設備

負担金類

継手類

バルブボックス隠蔽部の保温

既設給水銅管への接続

水槽類の施工手順

水槽類の衛生管理

引渡前の水質の管理

○ 不要 ● 要 (φ13mm)
※ 直圧給水弁は水道事業者の指定品（指定のない場合は、二次側給水に準じた弁）
※ 二次側給水弁(土中)：40A以下は青銅製で蝶ハンドル付き止水栓、50A以上はソフトシール制水弁(内面ライニング)
※ 二次側給水弁(一般)：40A以下は管端防食ねじ込み形青銅弁5K、50A以上は鑄鉄製 F 付き内面ライニング弁5K
※ 水栓エルボ、水栓ソケットは器具側砲金内ねじ形とする。
※ ユニットバス付属の水栓エルボへの接続は砲金継手等を使用し、管端の防錆をする。
※ ビニル管とライニング銅管の接続には水栓エルボ・水栓ソケットは使用しない。
※ T Sバルブソケットは金属製（砲金）おすネジを打込しているものを使用する。
※ 水道事業者の指定がない場合の埋設弁のボックスは、県標準図5・6による。
※ 給水管の細部保温は特記なき場合は下記のとおりとする。壁中等で仕様書通りの施工が困難な場合は監督職員の指示により保温を施す。
空間の有る壁中配管 → 要 流し下の空間配管 → 要
※ 改修工事等で銅管類（ライニング銅管）を切断して、やむを得ずメカニカル継手を使用する場合には、銅管類の切断部の防錆処理として、JWWA K 135規格適合品（エポキシ系DEVCON SF等バイプライニング用）にて処置する。ただし、コア一体型管端防食タイプソケットRC-LA型樹脂リケンを使用する場合は処理不要とする。）
※ 水位設定の協議後に、水位高さ入り施工図を作成し発注・施工を行う。なお、県標準図4を参考とし水位高さを協議する。
※ 受水槽・高架水槽を新設（改修等含む）施工する場合は、清掃・消毒等後に水張りを行う。
○ 残留塩素濃度の測定を行う。（端末において0.2mg/L以上検出されるまで消毒を行う。）
○ 建築物における衛生的環境の確保に関する法律に基づく水質検査（11項目）について行うこと。採水場所は指定の箇所で（ヶ所）とする。

○排水設備

保護砂 砂利

樹脂製排水樹

衛生器具等の接続

排水管の防露

排水管の試験等その他

● 第1樹以降の屋外ビニル管部分には、保護砂（180度台）を要す。
○ 遠心力鉄筋コンクリート管部分には砂利台を要す。
※ 防護蓋を設置する場合は県標準図7による。
● 洗面器等の排水金具と専用の排水アダプタでビニル管に接続できない場合、VCパッキンを使用する。
※ 既製流しの排水金具に使用しているジャバラホースはそのまま使用せず、VP配管直結（VCパッキンでも可）とする。県標準図5による。
○ 雨水立管の下部受部は差込継手を使用する。（但し平屋建は不要とする。）
※ 空間のある壁中配管・集合住宅等のスラブ正配管・受水槽他水槽からドレンバルブまで一必要 流し台下空間配管・実験台等への立ち上がり露出配管一不要
○ 満水試験 ● 通水試験 ● 鏡確認
※ 洗濯機排水金物の床貫通部等は共住区画に適合する処理を施す。

○消火設備

消火栓箱

○ 消火栓箱は(○ 県標準図12 ○ 国土交通省仕様 ○ メーカー仕様)
○ 共住区画の消防検査受検必要

○給湯設備

弁絶縁対策

給湯管の保温

大気汚染対策

○ 40A以下は青銅弁5K、50A以上は一般配管用ステンレス鋼弁10K
※ 銅管及びステンレス配管は支持金物との絶縁処理を行う。
※ 銅板製ボイラー及び銅管との接続等、異種管との接続には絶縁継手を使用する。
※ 給湯配管に簡易保温筒（クイックチューブ）を使用する場合は耐熱性のものを使用する。
※ 被覆銅管の継手カバーは保温付きのものを使用する。
※ 給湯器の配管化粧カバー内は凍結破損防止を考慮した保温（簡易保温筒）施工を行う。
○ 排ガス監視装置を要す。 ○ ばい煙濃度測定口を要す。

○ガス設備

ガス集合装置

給湯器用止水弁

その他

※ ガス集合装置は県標準図9・10・11を参照し、漏洩検知装置・耐震遮断装置・転倒防止金具等の必要有無に注意する。
※ スプリングチャッキ内蔵ボール弁を使用する。
※ ガス用フレキ管とガスコック等（ヒューズコック）との接続は、コック等の固定が出来る部材等を使用して接続する。
※ ゴムホース接続なきコックはゴムキャップを付ける。
※ ボンベ支持クサリ用のアンカーボルトは、10mm以上のもので、下記のいずれかとする。
※ 埋込アンカー・雄ネジ形メカニカルアンカー・接着系アンカー（ケミカルアンカー）なお、チェーン、フックも同様の強度を持つものとする。
※ 自記記録計によるガス圧テスト表の写しを県に提出し、正本は施工業者で5年間保存する。

○浄化槽設備

種汚泥

試運転調整

その他

※ 使用開始時には必要に応じて種汚泥を投入する。
※ 浄化槽の使用開始後おおむね3ヶ月間の試運転調整を行うもので、浄化槽法による「保守点検及び清掃等」を行うほか下記の事項を言う。
1 維持管理を管理業者に引継ぐ場合は直前に水質検査（BOD、SS、PH、大腸菌、塩素イオン）を行い、そのコピーを維持管理者、施設管理者、工事監督者に渡し、設計・施工・現況の注意事項を申し送ること。
※ 見やすい場所に型式、施工者名、設置年月、処理能力、放流水質を記入した銘板を設置する。
※ コンクリート頂版スラブを施工する場合、モルタルの浮き上がり、及び、水たまりが出来ないように仕上げ勾配に注意する。
○ 補助金申請設備

●空気調和・換気設備

空調機器の仕様

パッケージエアコン等

自動空気抜き弁装置

冷媒配管のラッキング

ダクト

消音内貼り

厨房等の排気フード

送風機（大型）

エアコン類の電気工事

防振ハンガー

耐震対策措置

機器付属の制御盤

大気汚染対策

※ グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成十二年法律第百号））の判断基準適合品とする。
なお、パッケージ及びマルチエアコン等については、各メーカーの最高効率機種とする。
○ 屋外機はJRA耐重塩害仕様とする。 ○ 屋外機は耐塩害仕様とする。
※ パッケージエアコン屋内機の施工については県標準図13を参考にして注意する。
○ 天カセ形室内機の取付等による天井の開口及び補強・補修を行う。（建築工事標準詳細図参照）
1）補強野縁は野縁と、補強野縁受及び取付け用補強材は野縁受と同材とする。
2）野縁受のはね出しが300mm以上の場合は、増し吊り設ける。
※ 室外機には設置場所を問わず、溶融亜鉛メッキ製またはSUS製の転倒防止金具もしくは転倒防止ワイヤーを設ける。
● 不要 ○ 要（ヶ所）自動空気抜き弁にはGV及びビストレーナーを取付ける。
※ 配管ラッキング（溶融アルミニウム－亜鉛鉄板・配管化粧カバー）は室外機の直近まで施す。
※ 配管樹脂化粧カバー（スリムダクト）も室外機の直近まで施す。なお、屋外スリムダクト最終部は閉塞処理を行う。（コーキング処理、またはエンドキャップ処理）（フリーコーナー（ジャバラ）は使用しない。）
○ アルミフレキ（不燃材料認定品） ○ ステンレスフレキ（不燃材料認定品）
※ 内貼りチャンパの寸法表示は、外法寸法とすること。サプライチャンパにはその上に銅きつ甲金網押えを行う。
※ 消音材はグラスウール（吹出口チャンパー・吸込口チャンパー・レターンチャンパーは25mm厚、サプライチャンパーは50mm厚）とし、ガラスクロス押えとする。
※ 排気フードは、SUS430製とする。（1.0mm厚）
※ フィルターは分解掃除が出来るものにする。
※ 黄銅製コックは20mmのものとする。（キャップ止でもよい）
※ 火器使用機器が確定後にフードの形状寸法を変更して、投影面積が変わる場合はフードの面風速もチェックする。（参考：フードの面風速は一般的に0.3m/sとして設計している。）
※ 送風機の機器表にファンの番手（＃）を明記している場合、小さい番手にしない。
※ エアコン設置に必要な一次側電源送り以降の、室内外渡り電源線、制御線、アース（CE2sq/4C・CE3.5sq/4C程度）を要す。
※ R100線はEM-AE0.9mm/2C～3C、又はVCTF0.75sq/2C～3Cとする。（但し延長が10m以下のR100線は機器付属品でもよい。）
※ 室内外の渡り配線で、冷媒配管と同じルートを施工する場所は同保温外装内に納める。（電源・制御配線の最低離隔距離は機器メーカーの基準に準ずる。）
※ 表示窓の付いたリモコンの取付場所は視認性の良い高さ（1,300～1500h）照明SWの上を標準とするが、総合図で充分打合せ調整を行う。
※ 防振ハンガーの設置判断基準は県標準図14による。
※ 震災後の設備機能確保を図る実務的設備耐震対策措置は県標準図15による。
※ 冷温水発生機、ボイラ及び温風暖房機の盤の始動スイッチの二次側に煤煙濃度計用電源端子を設ける。
○ 排ガス監視装置を要す。 ○ ばい煙濃度測定口を要す。

○別工事

別途工事

○ スリーブ、箱入れの補強筋 ○ ガラリ ○ 点検口 ○
○ 天井および壁貫通に対する下地補強 ○ ブロバンボンベ庫 ○ ○

Ⅲ 材料メーカー表

材 料	材 料 メ ー カ ー
衛 生 陶 器	TOTO、LIXIL (INAX)、ジャニス工業
水 栓 金 具 類	TOTO、LIXIL (INAX)、ジャニス工業、三栄水栓
F R P 水 槽	三菱、日立、積水
う ず 巻 ポ ン プ	荏原、日立、アイ、川本
水 中 モ ー タ ー ポ ン プ	荏原、日立、アイ、川本、鶴見
汚 水 ・ 汚 物 ポ ン プ	荏原、日立、アイ、川本、鶴見、新明和
電 気 温 水 器	四変テック、ユパック、日本電熱、東芝、パナソニック、三菱、日立
厨 房 機 器	日本調理、フジマック、北沢、ホシザキ四国、タニコー、マルゼン
小 型 鋼 板 ボ イ ラ ー	巴、昭和、愛知、ネボン、ヒラカワ
F R P 膨 張 タ ン ク	日立化成、三菱樹脂、ホーコス
ル ー ム エ ア コ ン	ダイキン、三菱、日立、パナソニック、東芝キャリア
パ ッ ケ ー ジ エ ア コ ン	ダイキン、三菱、日立、パナソニック、東芝キャリア
冷 温 水 発 生 機	矢崎、日立、荏原、川重、三菱重工、パナソニック
エアハンドリングユニット	新晃、ダイキン、三菱、昭和、日立、木村、東芝キャリア、三菱重工
送 風 機	日立、テラル、荏原、パナソニック、谷山、ミツヤ、旭電業
冷 却 塔	矢崎、日立、荏原シンワ、空研、日本スピンドル
自 動 制 御 機 器	アズビル、ジョンソンコントロールズ
ロ ー ル フィ ル タ ー	日本スピンドル、東洋空気調和、日本エアフィルタ
全 熱 交 換 形 換 気 扇	三菱、パナソニック、テラル、東芝、日立、ダイキン
そ の 他	国土交通省仕様適合品

完成後必要な取扱資格者

ボイラ

危険物

冷凍機

○ 資格不要 ○ 特別教育修了者（小型ボイラ） ○ 講習修了者 ○ （ ） 級ボイラ技士
○ 資格不要 ○ 危険物取扱主任者
○ 資格不要 ○ 第（ ） 種冷凍機械作業主任者

	官公庁等	打 合 せ 事 項	確 認 日
給 水			令和 年 月 日
排 水			令和 年 月 日
消 防			令和 年 月 日
浄 化 槽			令和 年 月 日
ガ ス			令和 年 月 日
そ の 他			令和 年 月 日
			令和 年 月 日

特記

凡例

一級建築士事務所登録第164号 TEL 088-823-5313

株式会社 総合企画設計

1級建築士登録第370412号 松本 賢一

製図

検印

工 事 名

こ第07086号 佐古保育所調理室空調改修2期工事

機械設備図

機械設備 特記仕様書（2）

2025. 09. 10

図 番 M - 2

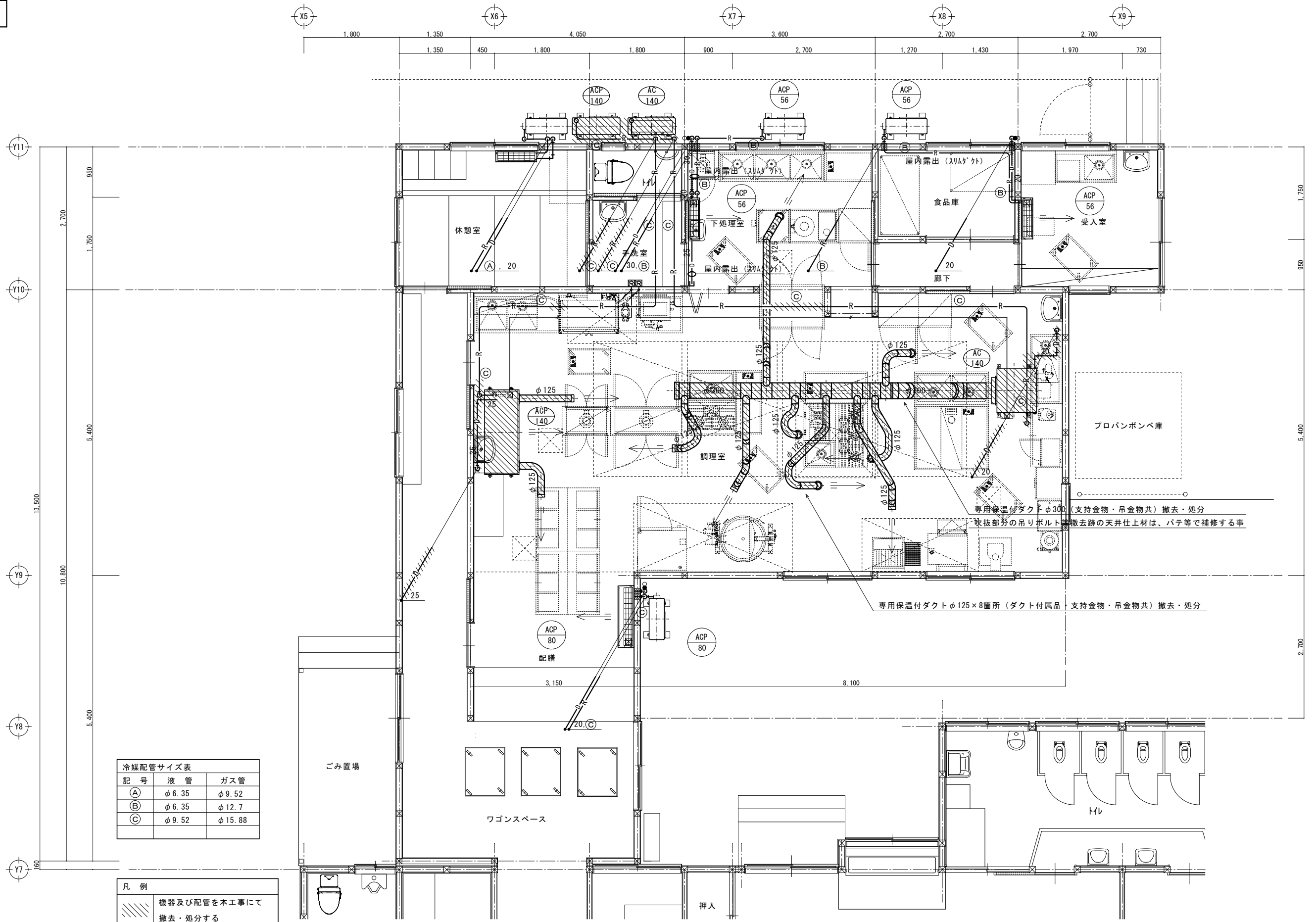
【既存撤去】空調設備 機器表						
記 号	名 称	機 器 仕 様	電 源	数 量	設置場所	撤去有無
	空気熱源ヒートポンプ式 パッケージエアコン	東芝 APAP14034	3φ-200V	1	厨房	撤去・処分
		冷房能力 定格 12.5kW (0.9～14.0kW) 消費電力 5.32kw				
		暖房能力 定格 14.0kW (2.7～16.0kW) 消費電力 4.67kw				
		室内機 厨房用天吊形 リモコンスイッチ共				
		専用付属ダクト2本立				
		室外機 圧縮機出力：3.0kw 冷媒 R410A 2.8kg				
		附属品 緑石ブロック基礎（取外し・再使用）＋防振パット（撤去処分）				
		転倒防止金具（撤去処分）				
冷媒配管 液側φ9.52／ガス側φ15.88 ドレン配管 VP-25						
	セバレート形 スポットエアコン	ダイキン SSDP140A	3φ-200V	1	厨房	撤去・処分
		冷房能力 14.0 kw				
		室内機 天吊形 リモコンスイッチ共				
		風量 38m3/min×166Pa×0.75kW 消費電力 0.59kW				
		室外機 圧縮機出力：2.5kw 消費電力 4.34kW 冷媒 R410A 3.8kg				
		附属品 緑石ブロック基礎（取外し・再使用）＋防振パット（撤去処分）				
		転倒防止金具（撤去処分）				
		冷媒配管 液側φ9.52／ガス側φ15.88 ドレン配管 VP-20				
特記事項 ヒートポンプ式パッケージエアコン・スポットエアコンの処分は、冷媒ガス回収・破壊を含む。 リモコン取付用スイッチボックスは残置（再利用）。						

【既存】空調設備 機器表						
記 号	名 称	機 器 仕 様	電 源	数 量	設置場所	備 考
AC 22	空気熱源ヒートポンプ式 パッケージエアコン	東芝 RAS-2210D-W	1φ-100V	1	休憩室	既存のまま
		冷房能力 定格 2.2kW (0.7～3.1kW) 消費電力 450w				
		暖房能力 定格 2.2kW (0.7～3.9kW) 消費電力 390w				
		室内機 壁掛形 ワイヤレスリモコン付				
		室外機 圧縮機出力：750w 冷媒 R410A 0.82kg				
		附属品 緑石ブロック基礎＋防振パット				
		転倒防止金具（溶融垂鉛メッキ）				
		冷媒配管 液側φ6.35／ガス側φ9.52 ドレン配管 VP-16				
ACP 56	空気熱源ヒートポンプ式 パッケージエアコン	冷房能力 定格 5.0kw (1.5～5.6kW) 消費電力 1.41kw	3φ-200V	2	下処理室 受入室	既存のまま
		暖房能力 定格 5.6kw (1.4～7.3kW) 消費電力 1.44kw				
		室内機 壁掛形 ワイヤレスリモコン・リモコンホルダー共				
		室外機 圧縮機 0.9kw 冷媒 R32				
		附属品 3分レール付ブロック基礎＋防振ゴムパット敷				
		転倒防止金具（溶融垂鉛メッキ）				
		冷媒配管 液側φ6.35／ガス側φ12.7 ドレン配管 VP-20				
ACP 80	空気熱源ヒートポンプ式 パッケージエアコン	冷房能力 定格 7.1kw (1.9～ 8.0kW) 消費電力 2.03kw	3φ-200V	1	厨房（配膳）	既存のまま
		暖房能力 定格 8.1kw (2.0～10.8kW) 消費電力 2.12kw				
		室内機 壁掛形 ワイヤレスリモコン・リモコンホルダー共				
		室外機 圧縮機 1.6kw 冷媒 R32				
		附属品 3分レール付ブロック基礎＋防振ゴムパット敷				
		転倒防止金具（溶融垂鉛メッキ）				
		冷媒配管 液側φ9.52／ガス側φ15.88 ドレン配管 VP-20				

【改修】空調設備 機器表						
記 号	名 称	機 器 仕 様	電 源	数 量	設置場所	備 考
ACP 140-1	空気熱源ヒートポンプ式 パッケージエアコン	冷房能力 定格 12.5kw (3.2～14.0kW) 消費電力 3.46kw	3φ-200V	2	厨 房	
		暖房能力 定格 14.0kw (3.5～18.2kW) 消費電力 3.64kw				
		室内機 厨房用天吊形 ワイヤードリモコン付				
		断熱フレキシブルダクトφ125×1.0m ×1本（吹出口リング共）				
		室外機 圧縮機 2.8kw 冷媒 R32				
		附属品 既設、緑石ブロック基礎（再取付）＋防振ゴムパット敷				
		転倒防止金具（溶融亜鉛メッキ）				
		冷媒配管 液側φ9.52／ガス側φ15.88 ドレン配管 VP-25				
ACP 140-2	空気熱源ヒートポンプ式 パッケージエアコン	冷房能力 定格 12.5kw (3.2～14.0kW) 消費電力 3.46kw	3φ-200V	2	厨 房	
		暖房能力 定格 14.0kw (3.5～18.2kW) 消費電力 3.64kw				
		室内機 厨房用天吊形 ワイヤードリモコン付				
		室外機 圧縮機 2.8kw 冷媒 R32				
		附属品 3分レール付ブロック基礎＋防振ゴムパット敷				
		転倒防止金具（溶融亜鉛メッキ）				
		冷媒配管 液側φ9.52／ガス側φ15.88 ドレン配管 VP-25				
特 記 事 項						
機 器	グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成十二年法律第百号））の判断基準適合品とする。					
	なお、マルチエアコン等については、各メーカーの最高効率機種とする。					
	室外機取替時、配管長に応じた冷媒追加充填を見込む事。（既設機器表参照）					
冷 媒 配 管	エアコン用被覆銅管（発泡プラスチック保温材）を使用し、保温の厚みは高知県工事における機械設備工事管理要領による。					
ドレン配管	空調ドレン配管は保温材付ドレンパイプとする。（天井・スリムダクト内 40A以下）					
	空調ドレン配管は塩化ビニル管（JIS K 6741）とする。（土間、天井・PS内の50A以上）					
	屋外露出のドレン配管は、カラーパイプを使用する。					
配 管 外 装						
	屋外露出部の配管はガルバラッキング。					
電 気 工 事	パッケージエアコン（室外機）の一次側電源送りは電気図面による。制御線は空調設備にて施工。					
	エアコンの室内外渡り電源線、制御線、アース（CE2sq/4C・CE3.5sq/4C程度）は本工事とする。					
	室内外の渡り配線で、冷媒配管と同じルートを施工する場所は同保温外装内に納めること。					
	リモコン線はEM-AE0.9mm/2C～3C、又はVCTF0.75sq/2C～3Cとする。					
	別館 洋室に設置するACP-4、-5 の3室については、本館事務室に設置の遠隔スイッチにて遠隔操できるようにする事。					
	既存 ACP-4、-5 に設置の遠方操作制御用リレーボックスは再利用し、取外し・再結線する。					
そ の 他						
	外壁冷媒管貫通部については、コーキングを行い雨仕舞いには特に注意して施工する事。					

特 記		凡 例		一級建築士事務所登録第164号 株 式 会 社 総 合 企 画 設 計			工 事 名	こ第07086号 佐古保育所調理室空調改修2期工事		
							機械設備図	既存・改修 空調機器表		
				1級建築士登録第370412号 松 本 賢 一			2025.09.10	縮 尺 S=N0 : SCALE		図 番 M-3
					製 図	検 印				

改修前



冷媒配管サイズ表		
記号	液管	ガス管
(A)	φ6.35	φ9.52
(B)	φ6.35	φ12.7
(C)	φ9.52	φ15.88

凡例	
	機器及び配管を本工事で撤去・処分する
	天井点検口(450×450)を示す

既存 給食調理室 平面図 S=1/50

特記

凡例

一級建築士事務所登録第164号

TEL 088-823-5313

株式会社 総合企画設計

1級建築士登録第370412号

松本 賢一

製図

検印

工事名

こ第07086号 佐古保育所調理室空調改修2期工事

機械設備図

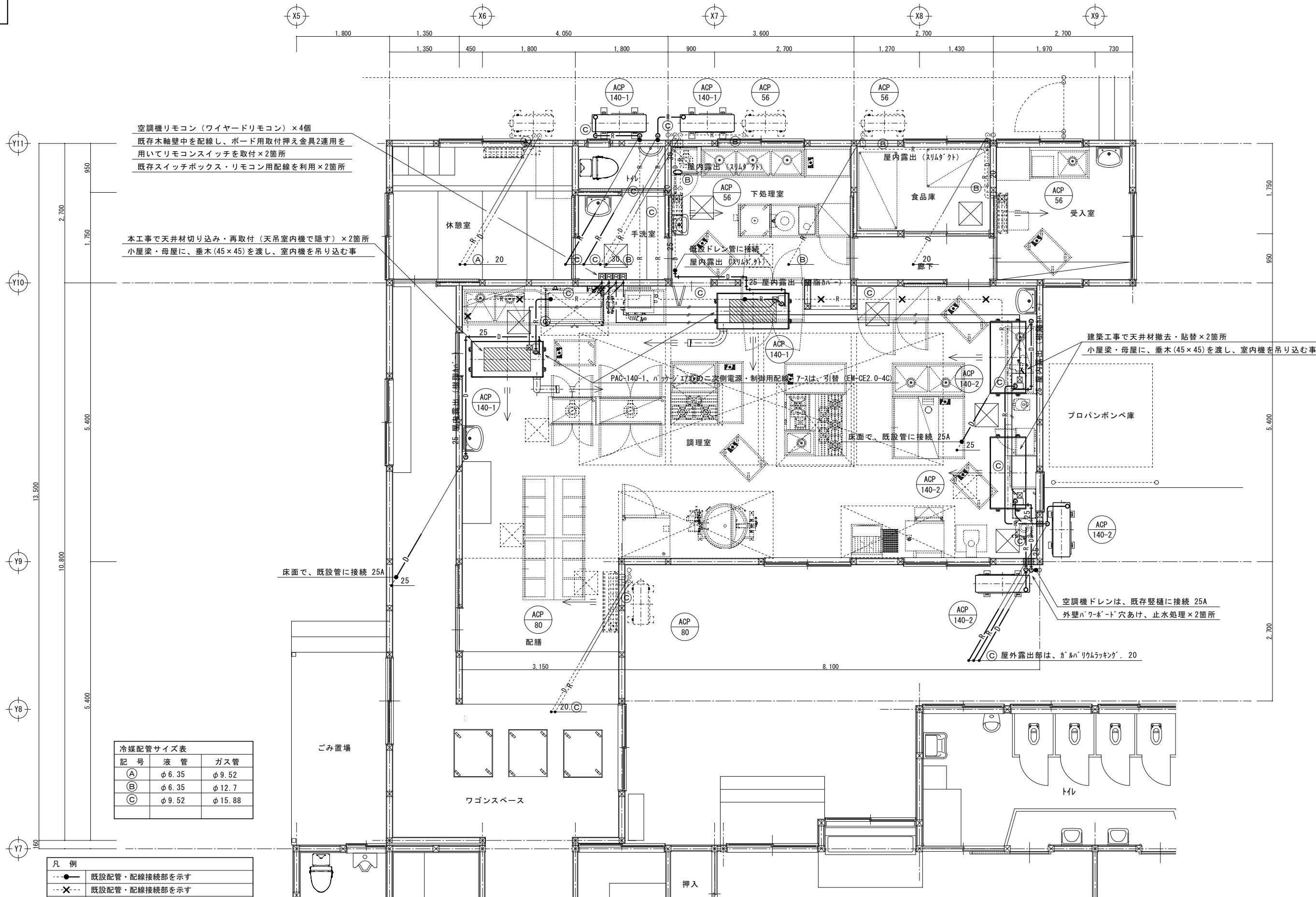
既存 空調設備 平面図

2025.09.10

縮尺 S=1:50

図番 M-4

改修後



冷媒配管サイズ表		
記号	液管	ガス管
(A)	φ 6.35	φ 9.52
(B)	φ 6.35	φ 12.7
(C)	φ 9.52	φ 15.88

凡 例	
---●---	既設配管・配線接続部を示す
---X---	既設配管・配線接続部を示す
---R---	冷媒管は一部既存流用する
---D---	ドレン管は一部既存流用する
—#—	EM-AE0.9mm-2C(空調機リモコンケーブル)

改修 給食調理室 平面図 S=1/50

・パッケージエアコンの二次側電源・制御用配線・アースは、冷媒管同一ルートの為、配線図は省略 (EM-CE2.0-4C)

特

記

凡

例

一級建築士事務所登録第164号

TEL 088-823-5313

株式会社 総合企画設計

1級建築士登録第370412号

松本 賢一

製図

検印

工 事 名

こ第07086号 佐古保育所調理室空調改修2期工事

機械設備図

改修 空調設備 平面図

2025.09.10

縮 尺 S=1:50

図 番 M-5